

平成 19 年
山梨県観光客動態調査結果

目 次

第1部 観光客動態調査

1. 調査目的.....	1
2. 調査期間.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査分析項目.....	2
5. 圏域分類.....	3
6. 調査結果の概要.....	5
(1) 平成19年観光客数.....	7
(2) 平成19年宿泊客数.....	7
(3) 平成19年日帰り客数.....	7
(4) 平成19年居住地別観光客実人数.....	7
(5) 平成19年観光消費額.....	7
(6) 平成19年本県観光の概要.....	8
7. 調査結果.....	15
(1) 平成19年観光客数.....	15
(2) 平成19年宿泊客数.....	18
(3) 圏域別観光客数及び宿泊客数.....	20
(4) 平成19年観光消費額.....	30

第2部 観光客アンケート調査による分析

1. 調査の概要.....	31
2. 観光客の特性、動態状況の分析.....	32
(1) 本県観光客の全体像.....	32
(2) 属性(性別・年代)別の観光客の特徴.....	48
(3) 圏域別の観光客の特徴.....	52

参考資料.....	59
-----------	----

観光客アンケート調査票.....	59
------------------	----

第 1 部 觀光客動態調查

1．調査目的

山梨県観光客動態調査（以下、「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2．調査期間

平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日

3．調査方法

本県観光客の実態をよりの確に把握するため、「全国観光統計基準」（社団法人日本観光協会 平成 8 年策定）に基づいて調査を実施し、分析を行った。

なお、単位未満は四捨五入しているため、内訳の合計が総計と一致しない場合がある。

観光客数調査、宿泊数調査

県内の観光客施設及び宿泊施設に対して調査票を送付し、月別の観光客数を把握した。

観光客アンケート調査

四季を通じて県内の主な観光地点において、観光客の行動パターンや観光消費額等の実態について対面聞き取り方式により調査した。

図表 1 調査対象

項目	調査内容
観光客数調査	・ 県内の観光地点 787地点 【データ利用調査】 ・ 高速道路及び県営有料道路利用状況調査 ・ 道路交通センサス ・ 警察本部発表山系別登山者数 ・ 入湯税調査
宿泊客数調査	・ 県内の宿泊施設 1,530施設
アンケート調査	・ 対面聞き取り方式 3,446サンプル

4. 調査分析項目

調査分析項目は次のとおりである。

図表 2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数（延べ人数）
宿泊客数	実人数
観光消費額	県内総消費額 1人当たり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 性別・年齢 利用交通手段 同行人数 グループ形態 観光目的 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 等

5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域（峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部）に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

なお、市町村合併による市町村界の変化に伴い、平成18年調査から各圏域の地域区分を変更している。本調査では、特に断りがない場合には、変更後の分類による分析結果を示す。

図表3 圏域分類（平成18年調査以降）

圏域名	所在市町村
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 櫛形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺 甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向） 旧敷島町 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧櫛形町 旧竜王町 旧双葉町 昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊富村
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺 旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村） 笛吹市（旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村）
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部 身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、増穂町、鯉沢町 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺 旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺 富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 旧圏域分類（平成17年調査まで）

圏域名	所在市町村
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 櫛形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向）、 旧敷島町 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧櫛形町 旧竜王町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺 風土記の丘周辺 旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村） 旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町 旧八代町、旧境川村、旧中道町、旧芦川村、旧豊富村
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部 身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、増穂町、鯉沢町 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺 旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧双葉町、旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺 富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表5 新分類による圏域位置図



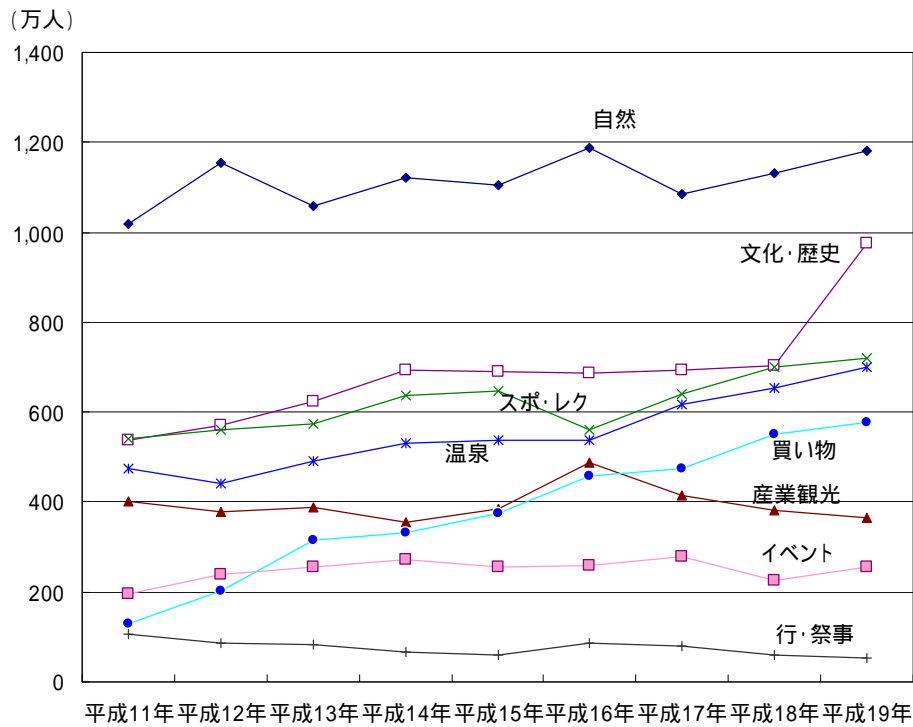
6. 調査結果の概要

図表6 平成19年観光客実人数の概況(旧圏域分類による)

(単位:千人,%)

項目	年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年		増減数	対前年比	
										構成比				
観光客総実人数		34,038	36,299	37,910	40,108	40,641	42,668	42,848	44,040	48,287	100.0	4,247	109.6	
日帰り・宿泊の別	日帰り客	28,810	30,759	32,328	34,240	34,692	36,590	36,868	38,004	41,953	86.9	3,949	110.4	
	宿泊客	5,228	5,540	5,583	5,868	5,949	6,078	5,980	6,037	6,334	13.1	297	104.9	
	宿泊施設別	ホテル・旅館	3,224	3,530	3,599	3,820	3,718	3,876	4,051	4,027	4,420	69.8	392	109.7
		民営宿泊施設	1,130	1,257	1,240	1,156	1,416	1,368	1,205	1,300	1,327	21.0	27	102.1
		ユースホステル	6	5	4	5	4	5	7	5	6	0.1	2	139.5
		社会教育施設	63	125	110	183	120	131	110	76	98	1.5	22	128.5
		公共宿泊施設	233	206	243	250	263	228	160	186	150	2.4	-36	80.8
		キャンプ場	572	416	387	455	428	470	447	443	333	5.3	-110	75.2
	宿泊圏域別	峡中	717	681	650	687	695	621	616	614	657	10.4	43	107.0
		峡東	960	982	1,079	1,029	1,027	1,029	1,099	1,107	1,173	18.5	66	105.9
		峡南	273	252	272	313	278	272	306	296	299	4.7	2	100.7
		峡北	832	870	791	847	888	805	761	749	791	12.5	43	105.7
富士・東部		2,440	2,755	2,790	2,991	3,061	3,351	3,198	3,270	3,414	53.9	143	104.4	
居住地別	県外客	23,348	24,524	25,772	24,072	25,798	30,813	30,886	28,815	32,190	66.7	3,375	111.7	
	県内客	10,690	11,776	12,139	16,035	14,843	11,855	11,962	15,225	16,097	33.3	872	105.7	
季節別	春(3~5月)	8,125	8,439	8,870	9,388	9,332	9,644	9,927	10,010	11,173	23.1	1,163	111.6	
	夏(6~8月)	11,425	12,327	13,047	13,680	13,858	14,411	14,408	14,690	15,527	32.2	836	105.7	
	秋(9~11月)	9,397	10,584	10,927	11,554	11,949	12,073	12,435	12,855	13,959	28.9	1,104	108.6	
	冬(1,2,12月)	5,091	4,949	5,066	5,486	5,502	6,539	6,077	6,485	7,628	15.8	1,143	117.6	
圏域別	峡中	7,325	7,973	8,176	8,656	8,313	8,795	8,956	9,214	11,750	24.3	2,537	127.5	
	峡東	6,282	6,422	6,814	6,573	6,792	7,267	7,673	7,898	8,688	18.0	790	110.0	
	峡南	2,261	2,402	2,426	2,537	3,005	2,548	2,661	2,664	2,743	5.7	79	103.0	
	峡北	3,894	4,465	5,782	6,297	6,701	6,767	7,267	7,599	7,859	16.3	260	103.4	
	富士・東部	14,277	15,038	14,713	16,045	15,830	17,291	16,290	16,667	17,248	35.7	581	103.5	
観光目的別	自然	10,195	11,545	10,595	11,208	11,051	11,889	10,852	11,313	11,824	24.5	510	104.5	
	文化・歴史	5,389	5,693	6,252	6,944	6,893	6,871	6,937	7,040	9,758	20.2	2,718	138.6	
	産業観光	4,012	3,780	3,893	3,545	3,834	4,860	4,161	3,805	3,660	7.6	-145	96.2	
	スポーツ・レク	5,399	5,606	5,741	6,374	6,464	5,617	6,417	6,995	7,191	14.9	196	102.8	
	温泉	4,742	4,425	4,908	5,319	5,369	5,384	6,164	6,530	6,998	14.5	468	107.2	
	買い物	1,295	2,011	3,142	3,321	3,742	4,564	4,728	5,518	5,767	11.9	249	104.5	
	行・祭事	1,051	851	835	665	585	878	812	598	532	1.1	-66	89.0	
	イベント	1,956	2,387	2,544	2,732	2,557	2,604	2,778	2,240	2,556	5.3	316	114.1	
観光消費総額(億円)		2,848	3,054	3,105	3,219	3,542	3,775	3,739	3,939	4,461	-	522	113.2	
(1人当たり観光消費額(円))		(8,366)	(8,412)	(8,190)	(8,025)	(8,716)	(8,848)	(8,727)	(8,945)	(9,239)	-	(294)	103.3	

図表7 目的別観光客実人数の推移



図表8 平成19年観光客実人数の概況(新圏域分類による)

(単位:千人,%)

項目	年	平成17年	平成18年	平成19年		増減数	対前年比
				構成比			
観光客総実人数		42,848	44,040	48,287	100.0	4,247	109.6
峡中		9,660	9,974	12,551	26.0	2,577	125.8
峡東		7,343	7,549	8,196	17.0	646	108.6
峡南		2,661	2,664	2,743	5.7	79	103.0
峡北		6,893	7,218	7,550	15.6	332	104.6
富士・東部		16,290	16,635	17,248	35.7	613	103.7
宿泊客総実人数		5,980	6,037	6,334	100.0	297	104.9
峡中		631	633	673	10.6	40	106.3
峡東		1,094	1,102	1,168	18.4	66	106.0
峡南		306	296	299	4.7	2	100.7
峡北		751	735	780	12.3	46	106.2
富士・東部		3,198	3,270	3,414	53.9	143	104.4

(1) 平成 19 年観光客数

観光客実人数	4,829 万人 (対前年比 109.6%)
平均訪問観光地点数	1.44 地点 (県外客 1.52 地点、県内客 1.26 地点)

(2) 平成 19 年宿泊客数

宿泊客実人数	633 万人 (対前年比 104.9%)
平均宿泊数	1.35 泊 (県外客 1.36 泊、県内客 1.20 泊)

(3) 平成 19 年日帰り客数

(「日帰り客数」 = 「観光客数」 - 「宿泊客数」)

日帰り観光客実人数	4,195 万人 (対前年比 110.4%)
-----------	--------------------------

(4) 平成 19 年居住地別観光客実人数

県外客実人数	3,219 万人 (対前年比 111.7%)
県内客実人数	1,610 万人 (対前年比 105.7%)

(5) 平成 19 年観光消費額

観光消費総額	4,461 億円 (対前年比 113.2%)
1 人当たり平均消費額	9,239 円 (対前年比 103.3%)

(6) 平成19年本県観光の概要

動態動向

平成19年の山梨県における観光客数は、実人数で4,829万人となり、平成18年の4,404万人と比べ425万人(9.6ポイント)増加した(図表9)。

5圏域別(図表9-1)では、富士・東部が1,725万人で最も多く、県内全体の35.7%を占めている。次いで峡中が1,255万人(26.0%)、峡東が820万人(17.0%)、峡北が755万人(15.6%)、峡南が274万人(5.7%)となっている。前年との比較で伸び率が最も高かったのは峡中の25.8ポイント、次いで峡東の8.6ポイント、峡北の4.6ポイントと続き、いずれの圏域でも前年を上回った。

本調査の対象期間は、NHKの大河ドラマ「風林火山」の放映期間と重なったため、武田氏ゆかりの施設の多い峡中圏域や峡東圏域を中心に観光客数が大きく増加した。特に武田神社、恵林寺などで伸びが著しかったほか、風林火山博や北杜市の風林火山館など関連イベントや施設への集客も多かった。

また、富士山の世界遺産登録の機運の盛り上がりに加え、登山シーズンに好天に恵まれたことなどから、富士山への入り込みが増加する傾向が続いている。また、県内各地に点在する公共温泉施設においても、指定管理者制度の導入などを期に営業やサービス強化によって集客を伸ばした施設があった。

月別にみると(図表9-2)、8月が755万人で最も多く、年間の15.6%を占めている。次いで10月が467万人(9.7%)、9月が466万人(9.6%)などと続く。最も少ない月は12月の236万人(4.9%)であった。

特に、風林火山効果に加え、暖冬傾向であったことなどから、例年観光客数が落ち込む1月~3月を中心に、年の前半の増加率が高かった。しかし最も観光客数が多い夏休みシーズンに梅雨明けの遅れや梅雨明け後の猛暑などの天候の影響を受けたこと、またガソリン価格の高騰が続いたことなどから、年の後半は観光客数の増加率が鈍化した。

観光の目的を分類別に割合で見ると(図表9-3)「自然」が24.5%で最も高く、次いで「文化・歴史」(20.2%)、「スポーツ・レクリエーション」(14.9%)、「温泉」(14.5%)、「買い物」(11.9%)などが続いている。

特に、大河ドラマの効果により武田氏ゆかりの史跡等への観光客が大幅に増加したことから、「文化・歴史」が前年に比べ4.2ポイント(272万人)増加した。

平成19年の宿泊客実人数は633万人で、前年の604万人より30万人(4.9ポイント)の増加となった(図表10)。

月別の概要

1月

冬型の気圧配置は長続きせず、強い寒気の南下は一時的で、月を通して高温となった。月の上旬には本州の南岸を低気圧が急速に発達しながら通過し、各地でまとまった雨となったが、その後は弱い冬型の気圧配置が続き、晴れの日が多かった。月間日照時間はやや短めであったものの、月平均気温は、平年差+1.0 から+1.5 で、全ての観測所で平年より高くなった。

1月の観光客は、大河ドラマの放送が始まったこともあり、前年よりも38万人(16.0ポイント)多い272万人であった。また宿泊客は、前年より2万人(5.8ポイント)増の31万人であった。

2月

冬型の気圧配置が長続きせず、移動性高気圧に覆われ晴れた日が多くなった。このため気温は平年より高い日が多くなり、月平均気温は平年差+2.3 から+2.8 で、平年よりかなり高かった。月間日照時間も平年の104%から112%で平年並から平年より多くなったところが多かった。

例年に比べ暖かかったこともあり、2月の観光客は、前年よりも46万人(22.0ポイント)多い255万人であった。また宿泊客は、前年より6万人(21.0ポイント)増の33万人となった。

3月

3月の山梨県は、上旬後半から中旬は冬型の気圧配置の日が多く、低温傾向となったが、上旬前半と下旬は移動性高気圧におおわれたり、日本海の低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだりしたため、気温の高い日が多くなり、月平均気温は平年より高くなった。また、降水量は南部で平年よりも多かったほかは全般に少なく、月間日照時間は全ての地点でかなり多かった。甲府地方気象台では21日に桜(ソメイヨシノ)の開花を観測した。これは平年(3月29日)より8日早く、昨年(3月24日)より3日早い開花であり、30日には桜の満開を観測した。

3月の観光客は、前年よりも39万人(14.9ポイント)多い300万人であった。また宿泊客は、前年より7万人(18.2ポイント)増の46万人となった。

4月

4月の山梨県は、日本の南海上を通過した低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多くなった。4月上旬の中頃や中旬の後半は低気圧通過後に寒気の影響を受け、気温の低い日が多く、特に18日~19日にかけては前線を伴った低気圧が南海上を通過し、富士五湖地方では大雪となった(河口湖では9cmの積雪を観測)。月平均気温の平年差は-1.1~

-0.5 と低く、月間日照時間も平年の 87～96%となった。

天候にはあまり恵まれなかったものの、4月の観光客は、前年よりも 42 万人（12.1 ポイント）多い 385 万人であった。また宿泊客は、前年より 5 万人（12.1 ポイント）増の 46 万人となった。

5月

5月の山梨県は、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。また、北日本付近をたびたび通った低気圧に向かい暖気が入りやすく、気温の高い日が多くなったものの、上空に寒気が入ったため、大気の状態が不安定となり、雷もしばしば発生した。月間日照時間は平年の 124～143%と、平年よりかなり高くなり、甲府及び河口湖を除く各地で5月としての月間日照時間の多い方から第1位を更新した。月降水量は東部で平年よりも多かった一方、峡北では少なめであった。

ゴールデンウィークの後半にやや天候がぐずついたものの、5月の観光客は、前年よりも 36 万人（9.0 ポイント）多い 433 万人であった。また宿泊客は、前年より 2 万人（4.1 ポイント）増の 57 万人となった。

6月

6月の山梨県は、上旬は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり雷雨となった日もあったものの、高気圧に覆われ晴れた日が多かった。14日頃に関東甲信越地方が梅雨入りしたと発表されたが、平年の6月8日ごろにくらべると遅めであった。しかし梅雨入り後も、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。月の下旬にかけても、まとまった雨の降る日が少ない状態が続いた。月降水量は平年の 33～68%で平年より少なかった一方、月平均気温の平年差は+0.1～+0.7 で高めの地点が多く、月間日照時間も平年の 110～170%とかなり多くなった。

6月の観光客は、前年に比べ 43 万人（12.6 ポイント）多い 379 万人であった。また宿泊客は、前年より 4 万人（11.6 ポイント）増の 43 万人となった。

7月

7月の山梨県は、6月から一転して梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に 14～15日は本州付近に停滞した梅雨前線と、本州南岸を東進した台風第4号の影響で、大雨となった。28日は高気圧に覆われて晴れ、甲府で今年初の猛暑日となったが、29日～30日には、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨となった。特に30日は局地的に激しい雨が降り、各地で土砂災害、浸水害、落雷害等が発生した。月平均気温の平年差は-1.2～-0.5 で多くの地点で平年より低く、月降水量は平年の 188～282%と、全ての観測所で平年よりかなり多かった。月間日照時間は平年の 42～67%と、かなり少なくなった。

7月の観光客は、前年よりも8万人(2.0ポイント)多い419万人であった。一方宿泊客は、天候不順が大きく影響して、前年より1万人(1.5ポイント)減の63万人となった。

8月

8月1日頃に関東甲信地方が梅雨明け(平年の梅雨明けは7月20日頃)し、梅雨明け以降は太平洋高気圧に覆われて、晴れて暑い日が続いた。特に中旬は高気圧の勢力が強まり、厳しい暑さとなり猛暑日が継続的に観測された。下旬の後半には前線がゆっくり南下したため、顕著な高温もおさまった。また、大気の状態が不安定となり局地的に激しい雷雨となった日があったものの、月降水量は平年の6~65%で、かなり少なかった。月平均気温の平年差は高めで、月間日照時間も平年の117~142%と富士五湖地方や南部地方を中心にかなり多かった。

8月の観光客は、前年よりも33万人(4.5ポイント)多い755万人であった。また宿泊客は、前年より2万人(1.6ポイント)増の124万人となった。

9月

台風や秋雨前線の影響はあったものの、太平洋高気圧に覆われ、晴れたり、暖かい空気が入ったため暑い日が多く厳しい残暑となった。特に18日には甲府で日最高気温35.3、河口湖で30.7を観測し、それぞれ35以上、30以上の終日の最晩を更新した。また、甲府・河口湖で9月の月平均気温の高い方から第2位となるなど厳しい残暑となった。

上旬の5日~7日にかけては台風第9号の影響で大雨となり、中旬は低気圧や秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、下旬前半には太平洋高気圧の勢力が強まり晴れて暑い日が多くなった。月平均気温の平年差は+1.5~+2.4で、全ての地域で平年よりかなり高かった。また、月降水量は台風の影響で東部や秩父山塊方面でかなり多くなった。

9月の観光客は、前年よりも55万人(13.4ポイント)多い466万人であった。また宿泊客は、前年より4万人(2.3ポイント)増の57万人となった。

10月

数日の周期で天気が変わり、高気圧に覆われ晴れる日もあったが、前線が本州南岸に停滞することも多く、曇りや雨となる日が多くあった。なお、27日には台風第20号が本州の南海上を北東進し、本州南岸の前線活動が活発となったため大雨となった。月平均気温の平年差は+0.2~+0.7で、平年並みかやや高めとなったが、月間日照時間は平年の76~98%とやや少なめであった。

10月の観光客は、前年よりも22万人(4.0ポイント)多い467万人であった。また宿泊客は、ぐずついた天候を反映して前年より3万人(10.2ポイント)減の49万人となっ

た。

11月

前線や湿った空気の影響で曇りの日が多くなったが、中頃は高気圧に覆われて、晴れた日が多かった。また気温は、前半は平年より高く、後半は平年より低くなり、気温の変動が大きかった。また月降水量は平年の7～45%で、平年よりかなり少ない地域が多かった。月間日照時間も平年の86～94%と、やや少なめであった。

11月の観光客は、前年よりも33万人(7.7ポイント)多い463万人であった。一方宿泊客は、前年より1万人(2.0ポイント)増の47万人となった。

12月

冬型の気圧配置となる日は少なく、本州付近を通過する低気圧や気圧の谷の影響で天気は周期的に変化した。12月22～23日にかけては南岸低気圧が通過した影響で富士五湖地方や標高の高い所で大雪となり、河口湖では23日に最深積雪24cm(山中で27cm)を観測した。また、30日には甲府で初雪を観測した。月降水量は平年よりも多く、月日照時間は短かったものの、平均気温はやや高めであった。

12月の観光客は、前年に比べ31万人(15.1ポイント)多い236万人であった。また宿泊客は、前年より0.5万人(1.3ポイント)増の36万人となった。

(資料：甲府地方気象台「山梨県の気象・地震概況」)

各圏域の概要

峡中圏域

平成 19 年の観光客数は 1,255 万人で、前年に比べ 258 万人、25.8 ポイント増加した。最も観光客数が多い地域は「芸術の森・武田神社周辺」で 654 万人、次いで「昇仙峡・湯村温泉周辺」が 397 万人などとなっている。

前年比では、武田神社や風林火山博など、大河ドラマ関連の施設やイベントの集客が多かった「芸術の森・武田神社周辺」が 54.3 ポイント(230 万人)の大幅な増加となった。また県立考古博物館の入場者が増加した「風土記の丘周辺」が 29.5 ポイント(11 万人)増、日帰り温泉施設や農産物加工施設等の集客が伸びた「櫛形山・果実郷周辺」が 17.3 ポイント(5 万人)増などとなっている。一方で、土砂崩れの影響などがあった「広河原・芦安温泉周辺」や、大規模イベントが減った「釜無川周辺」では、観光客数が前年を下回った。

宿泊客数は 67 万人で、前年比で 4 万人(6.3 ポイント)増加している。特に、甲府市中心部などが含まれる「芸術の森・武田神社周辺」の宿泊客数が大きく増加した。

(20 頁参照。)

峡東圏域

平成 19 年の観光客数は 820 万人で、前年と比べ 65 万人(8.6 ポイント)増加した。

特に「大菩薩・恵林寺周辺」では、恵林寺をはじめとする武田氏ゆかりの施設において入り込みが増加し、前年比 84.0 ポイントと全県の調査エリアの中で最も高い増加率となった。また、本圏域で観光客数が最も多い「石和温泉・果実郷周辺」の観光客は 368 万人で、前年から 9 万人増加した。

宿泊客数は 117 万人で、前年比で 7 万人(6.0 ポイント)増加した。エリア別では石和温泉郷を中心とした「石和温泉・果実郷周辺」の宿泊者が、圏域の 85.3%を占めている。

(22 頁参照。)

峡南圏域

平成 19 年の観光客数は 274 万人で、前年と比べ 8 万人(3.0 ポイント)増加した。

圏域内で観光客数が最も多いのは「身延山・下部温泉周辺」の 149 万人で、久遠寺や道の駅などの集客が増加した。前年に県道の通行止めが長期化したため観光客数が大きく減少した「早川周辺」では入り込みが回復した。一方で、「峡南南部」は最も大きな祭事である南部の火祭りや日帰り温泉施設などの客数が減少したため、観光客数が前年を下回った。

宿泊客数は 30 万人で、前年と比べ 0.7 ポイントの微増となった。最も宿泊客の多い「身延山・下部温泉周辺」では、前年に比べ 2 万人多い 17.5 万人であった。

(24 頁参照。)

峡北圏域

平成 19 年の観光客数は 755 万人で、前年と比べ 33 万人（4.6 ポイント）増加した。圏域内で最も観光客が多いのは「八ヶ岳高原周辺」で、圏域内観光客数の 71.2%を占めている。特に、風林火山館などの大河ドラマ関連施設や、道の駅の集客が多かった。

また「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、道の駅や市街地にある温泉施設に加え、ゴルフ場や公園などの野外施設の入り込みが増加し、前年比 15.9 ポイント増であった。一方で、「金峰・みずがき周辺」では利用客の多い観光施設で集客が伸び悩んだことから、3 万人（7.8 ポイント）の減少となった。

宿泊客数は 78 万人で、前年比 5 万人（6.2 ポイント）増加した。ただし、9.0 ポイント増加した「八ヶ岳高原周辺」以外のエリアでは、前年比で横這いか、減少している。（26 頁参照。）

富士・東部圏域

平成 19 年の観光客数は 1,707 万人で、前年比では 61 万人（3.7 ポイント）増加した。圏域内では富士吉田・河口湖・三ツ峠周辺が 639 万人と最も多く、県内全観光地域の中でも 13.2%を占めている。

また、富士山の世界遺産登録への機運の盛り上がりや、登山シーズンに好天に恵まれたこと、さらに涼を求めて富士山有料道路の利用者が増加したことなどから、「富士山五合目」が前年から 23 万人（13.0 ポイント）増加した。

一方、「山中湖・忍野周辺」や、「大月・北都留」及び「桂川・道志川周辺」の東部地域では、全般に釣り客やキャンプ場利用者などのアウトドア活動の減少により、いずれも前年の観光客数を下回った。

宿泊客数は 341 万人で、前年より 14 万人（4.4 ポイント）増加した。同圏域の宿泊客数は全県の 53.9%と過半数を占めている。またさらに、圏域内宿泊客数の 54.0%が「富士山・河口湖・三ツ峠周辺」に宿泊しており、同エリアが引き続き観光客数、宿泊客数ともに県内で最も高い集客力を有している。

（28 頁参照。）

7. 調査結果

(1) 平成19年観光客数

平成19年1月～12月までの観光客数(実人数)は4,829万人となり、前年の4,404万人と比べて425万人の増加となった。

図表9 平成19年 観光客月別一覧表(実人数)

(単位:人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	(H18)	対前年比	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	185,547	155,532	201,210	248,596	398,951	235,825	215,354	457,722	375,881	523,706	779,618	194,995	3,972,937	3,753,548	105.8%
	芸術の森・武田神社周辺	299,869	408,096	466,508	533,583	736,583	559,387	497,518	836,428	639,005	580,179	661,800	319,129	6,538,085	4,237,391	154.3%
	広河原・芦安温泉周辺	434	326	418	1,002	2,414	43,118	62,221	83,469	54,702	51,478	2,164	760	302,506	336,712	89.8%
	櫛形山・果実郷周辺	18,256	19,341	21,090	31,165	26,652	43,816	28,660	34,860	29,285	29,733	32,988	23,195	339,041	289,071	117.3%
	釜無川沿岸	47,878	158,870	50,808	61,850	79,056	78,001	58,927	74,918	64,673	105,503	81,235	44,489	906,208	977,348	92.7%
	風土記の丘周辺	21,746	22,049	29,019	59,871	41,708	53,298	40,025	42,334	41,760	50,270	69,206	21,062	492,348	380,228	129.5%
小計	573,730	764,214	769,053	936,067	1,285,364	1,013,445	902,705	1,529,731	1,205,306	1,340,869	1,627,011	603,630	12,551,125	9,974,298	125.8%	
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	54,313	65,055	98,918	131,142	96,749	110,194	70,651	83,578	96,971	91,227	93,375	43,011	1,035,184	562,659	184.0%
	勝沼ぶどう郷周辺	48,576	49,806	64,625	96,050	87,905	107,387	131,620	348,250	332,416	230,420	103,369	56,962	1,657,386	1,652,827	100.3%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	88,957	88,203	122,105	150,017	173,202	231,506	134,385	197,144	180,264	205,448	172,689	81,137	1,825,057	1,748,139	104.4%
	石和温泉・果実郷周辺	215,478	154,517	185,748	376,306	193,619	244,114	373,537	708,555	451,196	370,824	254,723	149,364	3,677,981	3,585,795	102.6%
小計	407,324	357,581	471,396	753,515	551,475	693,201	710,193	1,337,527	1,060,847	897,919	624,156	330,474	8,195,608	7,549,420	108.6%	
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	120,461	57,795	139,366	272,634	155,580	106,533	97,291	112,064	80,878	127,010	147,328	75,875	1,492,815	1,442,069	103.5%
	早川周辺	1,468	1,567	2,001	2,417	14,825	6,745	12,825	20,676	8,651	7,356	5,018	1,466	85,015	62,674	135.6%
	峡南北部	43,205	39,500	44,005	60,214	68,505	51,572	48,357	180,990	48,666	47,491	69,094	37,923	739,522	726,499	101.8%
	峡南南部	22,922	21,132	45,936	69,900	29,268	31,711	22,207	81,267	27,708	24,344	26,728	22,052	425,175	432,488	98.3%
小計	188,056	119,994	231,308	405,165	268,178	196,561	180,680	394,997	165,903	206,201	248,168	137,316	2,742,527	2,663,730	103.0%	
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	310,237	271,365	316,460	392,553	521,510	452,723	529,525	885,765	513,768	460,254	419,224	305,188	5,378,572	5,233,655	102.8%
	金峰・みずがき周辺	9,856	10,691	15,010	23,396	38,391	29,297	26,433	43,507	28,373	33,579	35,324	9,571	303,428	329,237	92.2%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	56,858	64,819	72,499	136,059	123,002	99,069	122,063	247,353	124,397	155,062	143,846	67,622	1,412,649	1,219,247	115.9%
	茅ヶ岳周辺	10,458	13,624	10,945	24,909	35,094	41,119	50,196	179,586	18,411	16,368	29,164	25,604	455,478	435,994	104.5%
小計	387,409	360,499	414,914	576,917	717,997	622,208	728,217	1,356,211	684,949	665,263	627,558	407,985	7,550,127	7,218,133	104.6%	
富士・東部圏域	富士山五合目	25,437	30,251	59,438	123,317	166,938	134,626	326,349	487,129	225,067	230,875	140,352	58,630	2,008,409	1,777,889	113.0%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	607,191	445,073	486,247	417,917	495,489	470,125	579,191	1,093,602	461,324	465,639	581,855	289,464	6,393,117	6,195,826	103.2%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	218,781	193,446	208,926	212,156	285,137	231,016	266,580	495,228	289,722	379,897	249,657	158,027	3,188,573	2,956,876	107.8%
	山中湖・忍野周辺	213,612	184,321	230,039	253,781	334,766	260,235	313,522	557,475	345,874	297,727	307,329	266,026	3,564,707	3,590,901	99.3%
	大月・北都留	41,542	29,102	42,101	59,928	86,854	73,901	65,210	89,722	81,394	72,384	109,261	46,751	798,150	816,269	97.8%
	桂川・道志川周辺	59,339	61,028	85,597	107,404	135,869	99,670	113,739	203,789	137,867	111,882	116,627	61,860	1,294,671	1,297,117	99.8%
	小計	1,165,902	943,221	1,112,348	1,174,503	1,505,053	1,269,573	1,664,591	2,926,945	1,541,248	1,558,404	1,505,081	880,758	17,247,627	16,634,878	103.7%
合計	2,722,421	2,545,509	2,999,019	3,846,167	4,328,067	3,794,988	4,186,386	7,545,411	4,658,253	4,668,656	4,631,974	2,360,163	48,287,014	44,040,459	109.6%	
月別構成比	5.6%	5.3%	6.2%	8.0%	9.0%	7.9%	8.7%	15.6%	9.6%	9.7%	9.6%	4.9%	100.0%			
(H18年)	2,347,854	2,086,515	2,609,179	3,430,553	3,970,201	3,368,931	4,103,171	7,218,292	4,107,041	4,447,769	4,300,481	2,050,472	44,040,459			
対前年比	116.0%	122.0%	114.9%	112.1%	109.0%	112.6%	102.0%	104.5%	113.4%	105.0%	107.7%	115.1%	109.6%			

参考図表 1 平成 19 年 観光客月別一覧表 (延べ人数)

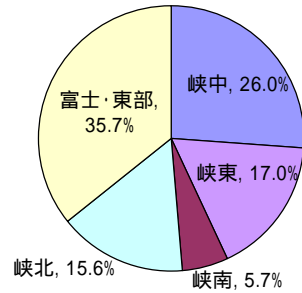
(単位:人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	(H18年)	対前年比	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	265,745	222,757	288,178	356,046	571,388	337,755	308,435	655,561	538,346	750,065	1,116,588	279,277	5,690,141	5,292,941	107.5%
	芸術の森・武田神社周辺	536,647	724,220	862,822	997,576	1,345,339	1,046,898	911,162	1,552,956	1,179,529	1,043,843	1,234,779	583,389	12,019,160	5,975,214	201.2%
	広河原・芦安温泉周辺	621	467	599	1,435	3,458	61,754	89,115	119,547	78,345	73,728	3,100	1,089	433,258	474,802	91.3%
	櫛形山・果実郷周辺	26,147	27,701	30,206	44,635	38,171	62,755	41,047	49,927	41,943	42,584	47,246	33,220	485,582	407,624	119.1%
	釜無川沿岸	68,573	227,537	72,768	88,583	113,226	111,714	84,396	107,300	92,627	151,104	116,347	63,718	1,297,892	1,378,175	94.2%
	風土記の丘周辺	31,145	31,579	41,562	85,749	59,735	76,335	57,325	60,632	59,810	71,998	99,119	30,165	705,153	536,164	131.5%
小計	928,878	1,234,261	1,296,135	1,574,023	2,131,316	1,697,211	1,491,481	2,545,923	1,990,599	2,133,322	2,617,178	990,859	20,631,188	14,064,920	146.7%	
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	80,343	96,864	146,215	194,354	146,231	166,339	106,582	125,096	145,982	138,606	142,535	64,725	1,553,870	793,416	195.8%
	勝沼ぶどう郷周辺	69,571	71,333	92,558	137,565	125,899	153,803	188,509	498,773	476,094	330,013	148,048	81,583	2,373,749	2,330,679	101.8%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	127,406	126,327	174,882	214,858	248,064	331,568	192,470	282,354	258,179	294,248	247,329	116,207	2,613,892	2,465,078	106.0%
	石和温泉・果実郷周辺	308,613	221,303	266,032	538,955	277,305	349,627	534,989	1,014,810	646,214	531,104	364,821	213,923	5,267,697	5,056,389	104.2%
小計	585,934	515,827	679,687	1,085,732	797,500	1,001,337	1,022,549	1,921,033	1,526,468	1,293,970	902,733	476,437	11,809,208	10,645,562	110.9%	
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	172,528	82,776	199,603	390,474	222,826	152,579	139,343	160,500	115,836	181,907	211,007	108,669	2,138,047	2,033,484	105.1%
	早川周辺	2,102	2,244	2,866	3,461	21,233	9,660	18,369	29,613	12,390	10,536	7,187	2,100	121,761	88,379	137.8%
	峡南北部	61,879	56,573	63,026	86,240	98,114	73,863	69,259	259,218	69,701	68,018	98,958	54,314	1,059,164	1,024,449	103.4%
	峡南南部	32,830	30,266	65,791	100,112	41,919	45,417	31,806	116,393	39,684	34,866	38,280	31,583	608,947	609,858	99.9%
小計	269,339	171,859	331,286	580,287	384,092	281,519	258,776	565,725	237,611	295,328	355,432	196,666	3,927,919	3,756,170	104.6%	
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	447,112	393,873	461,677	573,326	762,262	665,233	772,443	1,287,518	748,541	672,610	612,006	439,622	7,836,223	7,380,066	106.2%
	金峰・みずがき周辺	14,116	15,312	21,498	33,508	54,985	41,959	37,858	62,311	40,637	48,093	50,592	13,708	434,576	464,263	93.6%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	81,434	92,836	103,835	194,868	176,167	141,889	174,821	354,265	178,165	222,084	206,020	96,851	2,023,233	1,719,277	117.7%
	茅ヶ岳周辺	14,978	19,512	15,676	35,676	50,262	58,891	71,892	257,208	26,368	23,442	41,769	36,671	652,345	614,803	106.1%
小計	557,639	521,533	602,686	837,377	1,043,676	907,972	1,057,014	1,961,302	993,710	966,229	910,387	586,852	10,946,377	10,178,409	107.5%	
富士・東部圏域	富士山五合目	36,431	43,326	85,128	176,617	239,093	192,815	467,405	697,679	322,346	330,665	201,015	83,972	2,876,492	2,507,030	114.7%
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	869,634	637,445	696,415	598,551	709,652	673,325	829,532	1,566,283	660,720	666,900	833,348	414,577	9,156,383	8,736,836	104.8%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	313,344	277,058	299,230	303,855	408,380	330,867	381,803	709,278	414,947	544,098	357,564	226,330	4,566,753	4,169,537	109.5%
	山中湖・忍野周辺	305,941	263,989	329,467	363,472	479,461	372,715	449,034	798,430	495,370	426,412	440,165	381,009	5,105,465	5,063,589	100.8%
	大月・北都留	59,497	41,681	60,299	85,831	124,394	105,842	93,396	128,502	116,574	103,671	156,486	66,958	1,143,130	1,151,035	99.3%
	桂川・道志川周辺	84,987	87,406	122,594	153,826	194,595	142,749	162,899	291,872	197,456	160,240	167,036	88,597	1,854,258	1,829,084	101.4%
小計	1,669,834	1,350,905	1,593,133	1,682,153	2,155,575	1,818,313	2,384,069	4,192,044	2,207,412	2,231,985	2,155,614	1,261,444	24,702,481	23,457,111	105.3%	
合計	4,011,623	3,794,384	4,502,928	5,759,572	6,512,158	5,706,352	6,213,889	11,186,027	6,955,801	6,920,834	6,941,344	3,512,259	72,017,172	62,102,172	116.0%	
月別構成比	5.6%	5.3%	6.3%	8.0%	9.0%	7.9%	8.6%	15.5%	9.7%	9.6%	9.6%	4.9%	100.0%			

(H18年)	3,310,744	2,942,232	3,679,246	4,837,480	5,598,448	4,750,583	5,785,949	10,178,630	5,791,404	6,271,873	6,064,179	2,891,404	62,102,172
対前年比	121.2%	129.0%	122.4%	119.1%	116.3%	120.1%	107.4%	109.9%	120.1%	110.3%	114.5%	121.5%	116.0%

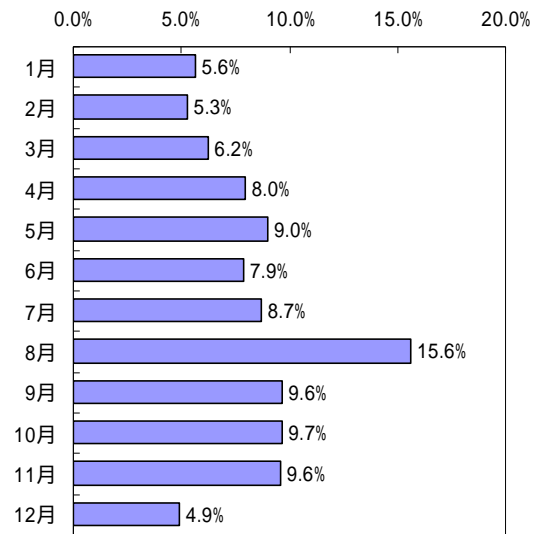
図表 9 - 1 圏域別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
峡中	12,551,125	26.0%
峡東	8,195,608	17.0%
峡南	2,742,527	5.7%
峡北	7,550,127	15.6%
富士・東部	17,247,627	35.7%
合計	48,287,014	100.0%



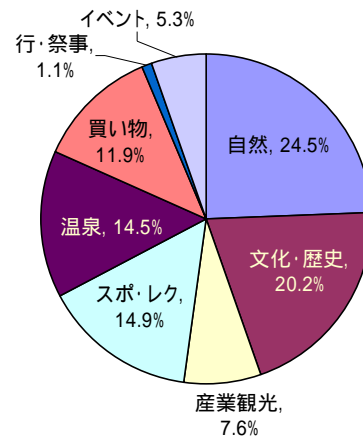
図表 9 - 2 月別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
1月	2,722,421	5.6%
2月	2,545,509	5.3%
3月	2,999,019	6.2%
4月	3,846,167	8.0%
5月	4,328,067	9.0%
6月	3,794,988	7.9%
7月	4,186,386	8.7%
8月	7,545,411	15.6%
9月	4,658,253	9.6%
10月	4,668,656	9.7%
11月	4,631,974	9.6%
12月	2,360,163	4.9%
年合計	48,287,014	100.0%



図表 9 - 3 観光分類別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
自然	11,823,796	24.5%
文化・歴史	9,758,012	20.2%
産業観光	3,659,781	7.6%
スポ・レク	7,191,073	14.9%
温泉	6,998,443	14.5%
買い物	5,767,281	11.9%
行・祭事	532,330	1.1%
イベント	2,556,296	5.3%



(2) 平成 19 年宿泊客数

平成 19 年 1 月～12 月の宿泊客数は 633 万人となり、604 万人であった前年と比べて 30 万人(4.9 ポイント)増加した。

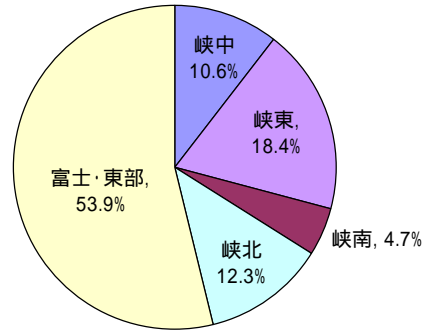
図表 10 平成 19 年 宿泊客月別一覧表(実人数)

(単位:人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(H18年)	前年比(%)
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	12,239	12,923	16,111	16,332	17,845	17,675	14,490	22,279	15,108	15,685	17,174	12,752	190,613	184,870	103.1
	芸術の森・武田神社周辺	25,363	27,037	33,924	30,450	31,707	28,035	27,584	37,899	29,058	26,757	28,076	24,033	349,923	317,575	110.2
	広河原・芦安温泉周辺	775	646	1,024	1,207	1,410	2,049	5,267	12,765	4,634	2,868	1,536	769	34,950	35,434	98.6
	櫛形山・果実郷周辺	1,379	1,753	1,873	2,038	3,125	2,124	3,101	5,928	2,679	2,412	2,158	1,607	30,177	30,123	100.2
	釜無川沿岸	4,511	4,849	5,673	5,371	5,453	5,129	5,052	6,181	5,503	4,972	5,351	4,797	62,842	59,953	104.8
	風土記の丘周辺	241	315	282	288	494	236	444	1,399	482	250	235	193	4,859	5,529	87.9
	小計	44,508	47,523	58,887	55,686	60,034	55,248	55,938	86,451	57,464	52,944	54,530	44,151	673,364	633,484	106.3
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	2,687	2,616	2,967	3,380	5,117	3,798	4,660	8,030	3,453	3,712	3,712	2,712	46,844	40,921	114.5
	勝沼ぶどう郷周辺	1,038	965	1,682	1,958	2,839	1,929	3,023	5,654	3,146	2,760	2,250	1,459	28,703	27,949	102.7
	西沢溪谷・フルーツ公園周辺	5,728	6,142	7,137	7,423	7,462	6,941	8,728	14,306	8,500	8,755	8,784	6,444	96,350	84,101	114.6
	石和温泉・果実郷周辺	66,070	69,631	82,845	78,948	73,477	77,586	78,747	113,784	83,641	87,763	102,860	80,747	996,099	948,831	105.0
	小計	75,523	79,354	94,631	91,709	88,895	90,254	95,158	141,774	98,740	102,990	117,606	91,362	1,167,996	1,101,802	106.0
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	8,607	10,735	13,115	12,819	16,252	18,324	18,771	20,552	14,732	16,511	16,220	8,731	175,369	157,005	111.7
	早川周辺	3,944	2,795	3,787	6,625	9,307	4,406	5,164	14,501	8,688	12,340	6,714	3,517	81,788	98,970	82.6
	峡南北部	242	148	569	1,819	2,253	1,699	2,032	5,095	2,541	2,275	2,744	824	22,241	21,680	102.6
	峡南南部	725	688	728	668	1,101	704	2,190	5,018	1,511	1,164	2,498	2,229	19,224	18,749	102.5
	小計	13,518	14,366	18,199	21,931	28,913	25,133	28,157	45,166	27,472	32,290	28,176	15,301	298,622	296,404	100.7
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	23,466	23,912	25,903	35,066	60,723	41,274	61,685	150,141	57,993	44,291	36,640	23,927	585,021	536,738	109.0
	金峰・みずがき周辺	3,629	3,843	5,668	6,282	7,493	7,813	8,087	12,743	7,427	8,311	7,773	3,632	82,701	84,251	98.2
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	2,157	2,072	2,905	4,955	9,707	5,682	15,237	30,132	11,096	9,599	4,153	3,012	100,707	100,746	100.0
	茅ヶ岳周辺	279	191	294	820	938	551	1,019	3,860	1,431	1,124	913	348	11,768	12,893	91.3
	小計	29,531	30,018	34,770	47,123	78,861	55,320	86,028	196,876	77,947	63,325	49,479	30,919	780,197	734,628	106.2
富士・東部圏域	富士山・河口湖・三つ峠周辺	94,359	104,792	165,082	145,382	158,034	122,182	181,500	302,253	167,185	143,796	144,278	114,494	1,843,337	1,734,995	106.2
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	13,603	13,960	32,471	29,556	42,193	23,193	59,034	131,733	41,485	22,111	20,875	14,919	445,133	442,535	100.6
	山中湖・忍野周辺	31,379	24,955	45,723	57,572	83,771	43,854	96,324	263,611	74,702	54,609	45,457	37,611	859,568	826,268	104.0
	大月・北都留	4,529	6,886	7,405	7,156	11,544	6,145	11,546	24,119	10,780	7,768	6,931	4,965	109,774	107,258	102.3
	桂川・道志川周辺	3,929	3,629	5,310	8,357	18,673	8,699	19,435	51,979	15,452	9,609	6,779	4,114	155,965	159,355	97.9
小計	147,799	154,222	255,991	248,023	314,215	204,073	367,839	773,695	309,604	237,893	224,320	176,103	3,413,777	3,270,411	104.4	
合計	310,879	325,483	462,478	464,472	570,918	430,028	633,120	1,243,962	571,227	489,442	474,111	357,836	6,333,956	6,036,729	104.9	
月別構成比(%)	4.9	5.1	7.3	7.3	9.0	6.8	10.0	19.6	9.0	7.7	7.5	5.6	100.0			
(H18年)	293,774	268,997	391,384	414,510	548,657	385,323	641,620	1,221,567	532,486	521,886	463,992	352,533	6,036,729			
対前年比(%)	105.8	121.0	118.2	112.1	104.1	111.6	98.7	101.8	107.3	93.8	102.2	101.5	104.9			

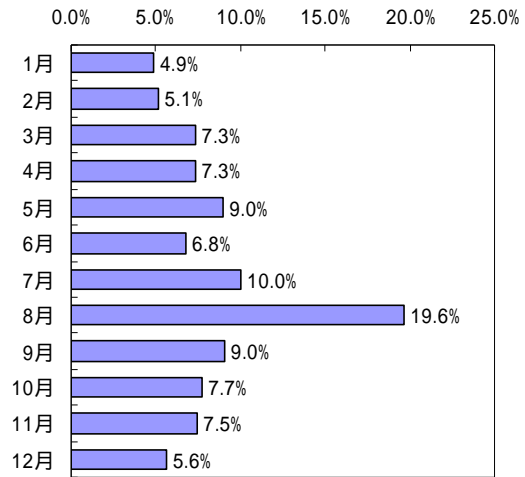
図表 10 - 1 圏域別宿泊客の割合

圏域名	宿泊客数(人)	構成比(%)
峡中	673,364	10.6%
峡東	1,167,996	18.4%
峡南	298,622	4.7%
峡北	780,197	12.3%
富士・東部	3,413,777	53.9%
合計	6,333,956	100.0%



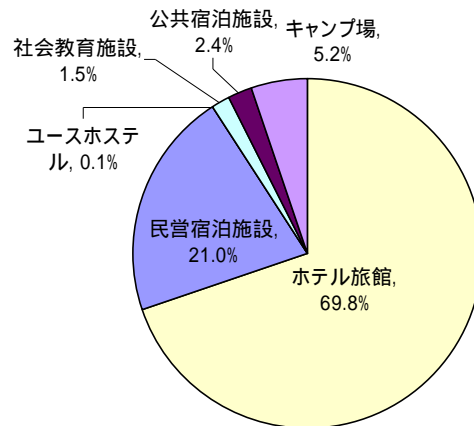
図表 10 - 2 月別宿泊客の割合

項目	宿泊客数(人)	構成比(%)
1月	310,879	4.9%
2月	325,483	5.1%
3月	462,478	7.3%
4月	464,472	7.3%
5月	570,918	9.0%
6月	430,028	6.8%
7月	633,120	10.0%
8月	1,243,962	19.6%
9月	571,227	9.0%
10月	489,442	7.7%
11月	474,111	7.5%
12月	357,836	5.6%
年合計	6,333,956	100.0%



図表 10 - 3 宿泊施設別宿泊客の割合

分類名	宿泊客数(人)	構成比(%)
ホテル旅館	4,419,558	69.8%
民営宿泊施設	1,327,492	21.0%
ユースホステル	6,292	0.1%
社会教育施設	97,611	1.5%
公共宿泊施設	150,101	2.4%
キャンプ場	332,902	5.2%
合計	6,333,956	100.0%



(3) 圏域別観光客数及び宿泊客数

峡中圏域

図表 11 峡中圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡中圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
昇仙峡・湯村温泉周辺	H19	3,972,937	190,613
	H18	3,753,548	184,870
	対前年比	105.8	103.1
芸術の森・武田神社周辺	H19	6,538,085	349,923
	H18	4,237,391	317,575
	対前年比	154.3	110.2
広河原・芦安温泉周辺	H19	302,506	34,950
	H18	336,712	35,434
	対前年比	89.8	98.6
櫛形山・果実郷周辺	H19	339,041	30,177
	H18	289,071	30,123
	対前年比	117.3	100.2
釜無川沿岸	H19	906,208	62,842
	H18	977,348	59,953
	対前年比	92.7	104.8
風土記の丘周辺	H19	492,348	4,859
	H18	380,228	5,529
	対前年比	129.5	87.9
小計	H19	12,551,125	673,364
	H18	9,974,298	633,484
	対前年比	125.8	106.3

平成 19 年の観光客の実人数は 1,255 万人で、前年より 25.8 ポイント増加した。

圏域で最も観光客数が多い地域は「芸術の森・武田神社周辺」、次いで「昇仙峡・湯村温泉周辺」、「釜無川沿岸」などとなっている。前年比で見ると、「芸術の森・武田神社周辺」が 54.3 ポイント増、「風土記の丘周辺」が 29.5 ポイント増、「櫛形山・果実郷周辺」が 17.3 ポイントなどと増加した一方で、「広河原・芦安温泉周辺」が 10.2 ポイント減、「釜無川周辺」が 7.3 ポイント減少した。

また、宿泊客実人数は 67 万人で、前年より 6.3 ポイント増加した。

「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、昇仙峡の観光客が年の前半を中心に増加したほか、温泉客が年間を通じて安定的に増加したことなどにより、前年比 5.8 ポイントの増加となった。

また、宿泊者数は 3.1 ポイントの増加となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、大河ドラマの影響によって武田神社や甲斐善光寺などの武田氏ゆかりの施設への入り込みが大幅に増加したほか、甲府・国中地域地

場産業センター(かいてらす)などの物産施設や臨時イベントである風林火山博にも多数の来場者があった。また県立美術館や県立科学館などでは、企画展や体験型イベントの充実などによって入場者数が増加した。

「広河原・芦安温泉周辺」の観光客数は、7月の土砂崩落に伴う林道南アルプス線の通行止めの影響から南アルプスへの入山者や、麓の温泉客の集客が伸び悩み、観光客数は10.2ポイント減少した。

また、宿泊客数も微減となった。

「櫛形山・果実郷周辺」では、指定管理者制度を導入した日帰り温泉施設や農産物加工・販売施設などで利用者が大きく増加し、全体として17.3ポイントの増加となった。

また、宿泊客は横ばいであった。

「釜無川沿岸」の観光客数は、日帰り温泉施設や赤坂台総合公園などの利用客が全般に減少したことに加え、複数の大規模イベントが廃止され1つに集約されたことなどから、全体として7.3ポイントの減少となった。

一方、宿泊は4.8ポイントの増加となった。

「風土記の丘周辺」の観光客数は、最も集客の多い道の駅がわずかながら減少したものの、県立考古博物館で10月から11月にかけて開催された特別展によって大きく入場者が増加したことから、全体でも29.5ポイントの大幅な増加となった。

しかし、宿泊客数は12.1ポイントの減少であった。

峡東圏域

図表 12 峡東圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡東圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
大菩薩・恵林寺周辺	H19	1,035,184	46,844
	H18	562,659	40,921
	対前年比	184.0	114.5
勝沼ぶどう郷周辺	H19	1,657,386	28,703
	H18	1,652,827	27,949
	対前年比	100.3	102.7
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	H19	1,825,057	96,350
	H18	1,748,139	84,101
	対前年比	104.4	114.6
石和温泉・果実郷周辺	H19	3,677,981	996,099
	H18	3,585,795	948,831
	対前年比	102.6	105.0
小計	H19	8,195,608	1,167,996
	H18	7,549,420	1,101,802
	対前年比	108.6	106.0

峡東圏域の平成 19 年の観光客の実人数は 820 万人で、前年と比べ 8.6 ポイント増えた。

観光客数が最も多いのは「石和温泉・果実郷周辺」で、前年比で増加率が最も高いのは「大菩薩・恵林寺周辺」(84.0 ポイント増)であった。

また、宿泊客実人数は 117 万人で、前年よりも 6.0 ポイント増加した。

「大菩薩・恵林寺周辺」では、大河ドラマの影響によって恵林寺や周辺の寺社、資料館などの集客が大幅に伸び、全体として 84.0 ポイントと、全県の集計エリアの中でも最も大きい伸び率となった。

また宿泊客数も、前年から 14.5 ポイント増加した。

「勝沼ぶどう郷周辺」の観光客数は、風林火山関係のツアーに組み入れられている一部の観光施設やワイナリーなどでは増加したものの、全体には風林火山の影響は少ないとする施設が多く、本エリアで最も集客の多いぶどうの丘をはじめ、全体的には集客が伸び悩んだ。

一方、宿泊は 2.7 ポイントの増加に転じた。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」の観光客数は、圏央道の開通に伴う雁坂トンネルの通行量の減少が懸念されているものの、道の駅みとみなどの客数は増加に転じたほか、民営の日帰り入浴施設やフルーツ公園をはじめとする大規模公園、さらには西沢

溪谷などで観光客数が増加したことにより、前年比 4.4 ポイントの増加となった。
また、宿泊客数も 14.6 ポイント増加した。

「石和温泉・果実郷周辺」の観光客数は、集客のメインである石和温泉や日帰り温泉施設への温泉客が増加したほか、金川の森公園やゴルフ場などの利用者が増加したことなどにより、全体として 2.6 ポイント増加した。

また、宿泊客数も 5.0 ポイントの増加となった。

峡南圏域

図表 13 峡南圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡南圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
身延山・下部温泉周辺	H19	1,492,815	175,369
	H18	1,442,069	157,005
	対前年比	103.5	111.7
早川周辺	H19	85,015	81,788
	H18	62,674	98,970
	対前年比	135.6	82.6
峡南北部	H19	739,522	22,241
	H18	726,499	21,680
	対前年比	101.8	102.6
峡南南部	H19	425,175	19,224
	H18	432,488	18,749
	対前年比	98.3	102.5
小計	H19	2,742,527	298,622
	H18	2,663,730	296,404
	対前年比	103.0	100.7

平成 19 年の峡南圏域の観光客実人数は 274 万人で、前年と比べ 3.0 ポイント増加した。

圏域内で観光客数が最も多いのは「身延山・下部温泉周辺」で、前年比で増加率が最も高いのは「早川周辺」(35.6 ポイント)であった。

「身延山・下部温泉周辺」の観光客数は、久遠寺の参拝客が暖冬や五重塔復元工事関係の見学者などによって増加したほか、道の駅しもべ(下部農村文化公園)の集客が増加したことなどから、全体として 3.5 ポイント増加した。

また、宿泊客数は 11.7 ポイントの増加となった。

「早川周辺」では、平成 18 年に雨量規制や土砂崩落等による県道南アルプス公園線の通行規制が 100 日以上に及んだため大きく観光客数が落ち込んだのに対し、平成 19 年は 23 日と大幅に減少し、通行者数が大きく改善したことなどから、観光客数は 35.6 ポイント増加した。

一方、宿泊者数は 17.4 ポイントの減少となった。

「峡南北部」の観光客数は、買物施設や櫛形山の登山者がやや減少しているものの、指定管理者が管理運営する日帰り温泉施設が引き続き好調であったことなどから、全体で 1.8 ポイント増加した。

また、宿泊客数も 2.6 ポイントの増加であった。

「峡南南部」の観光客数は、南部の火祭りの集客が減少したことに加え、日帰り温泉施設が全般に減少気味であったことなどから、全体として1.7ポイントの減となった。

一方、宿泊客数は2.5ポイント増加した。

峡北圏域

図表 14 峡北圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡北圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
八ヶ岳高原周辺	H19	5,378,572	585,021
	H18	5,233,655	536,738
	対前年比	102.8	109.0
金峰・みずがき周辺	H19	303,428	82,701
	H18	329,237	84,251
	対前年比	92.2	98.2
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	H19	1,412,649	100,707
	H18	1,219,247	100,746
	対前年比	115.9	100.0
茅ヶ岳周辺	H19	455,478	11,768
	H18	435,994	12,893
	対前年比	104.5	91.3
小計	H19	7,550,127	780,197
	H18	7,218,133	734,628
	対前年比	104.6	106.2

平成 19 年の観光客の実人数は 755 万人で、前年と比べ 4.6 ポイント増加した。

圏域内で最も観光客数が多いのは「八ヶ岳高原周辺」で、前年比で増加率が最も高いのは「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」(15.9 ポイント) であった。

「八ヶ岳高原周辺」の観光客数は、中小規模の美術館・博物館の入場者が全体に減少傾向にあるものの、風林火山館や道の駅の入場者・利用者が多かったほか、各日帰り温泉施設も全般的に入り込みが増加したことなどから、全体では 2.8 ポイントの増加となった。

また宿泊客数も 9.0 ポイント増加した。

「金峰・みずがき周辺」の観光客数は、主要な観光施設の利用客が減少し、温泉施設なども集客が伸び悩んだことから、全体として 7.8 ポイントの減少となった。観光施設からは、ガソリン価格の高騰の影響で本エリアに足を伸ばす客が減ったとの意見があった。

また宿泊も 1.8 ポイントの減少となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、前年に引き続き道の駅や葦崎市の温泉客が増加したことに加え、ゴルフ場や親水公園などの利用者が増加したことなどから、全体として 15.9 ポイントの増加となった。

一方、宿泊客数は前年並みであった。

「茅ヶ岳周辺」の観光客数は、エリア内で最も集客の多いハイジの村（フラワーセンター）で引き続き入場者数が増加したほか、天候不順によって前年の集客が落ち込んだサンフラワーフェスティバルも、約1割の増加となるなど、全体で4.5ポイントの増加となった。

しかし、宿泊客数は前年比で8.7ポイント減少した。

富士・東部圏域

図表 15 富士・東部圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

富士・東部圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
富士山五合目	H19	2,008,409	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺に含む
	H18	1,777,889	
	対前年比	113.0	
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	H19	6,393,117	1,843,337
	H18	6,195,826	1,734,995
	対前年比	103.2	106.2
本栖湖・精進湖・西湖周辺	H19	3,188,573	445,133
	H18	2,956,876	442,535
	対前年比	107.8	100.6
山中湖・忍野周辺	H19	3,564,707	859,568
	H18	3,590,901	826,268
	対前年比	99.3	104.0
大月・北都留	H19	798,150	109,774
	H18	816,269	107,258
	対前年比	97.8	102.3
桂川・道志川周辺	H19	1,294,671	155,965
	H18	1,297,117	159,355
	対前年比	99.8	97.9
小計	H19	17,247,627	3,413,777
	H18	16,634,878	3,270,411
	対前年比	103.7	104.4

平成 19 年の観光客の実人数は 1,725 万人で、前年比では 3.7 ポイント増加した。

圏域内では「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」が 639 万人で最も多く、次いで「山中湖・忍野周辺」、「本栖湖・精進湖・西湖周辺」と、富士五湖地方が続いている。

また、前年比で増加率が最も高かったのは、登山者数の増加が続いている「富士山五合目」(13.0 ポイント増)であった。

「富士山五合目」は、世界遺産への登録機運の広がりによって幅広い年代層に富士山及び富士登山への関心が高まったことや、最も登山者の多い 8 月の週末が好天に恵まれたことなどから、登山者並びに富士山有料道路の利用者が増加し、前年比で 13.0 ポイントの増となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」の観光客数は、釣り客やキャンプ場利用者などが減少したほか、美術館などの文化施設も集客が伸び悩んだものの、大規模レジャー施設で年の前半を中心に集客が増加したほか、温泉客などが増加したことから、全体では 3.2 ポイントの増加となった。

また、富士山と合わせた宿泊客数は、6.2 ポイントの増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」の観光客数は、キャンプ場利用者が減少したものの、道の駅やいやしの里根場などの集客施設の入り込みが増加したことや、猛暑の影響で風穴・氷穴の入場者が増加したことなどから、全体としては7.8ポイント増加した。また、宿泊客数は0.6ポイントの微増であった。

「山中湖・忍野周辺」の観光客数は、日帰り温泉施設など利用者が増加に転じたものの、キャンプ場利用客や水族館、中小規模の美術館・博物館などが全般に伸び悩み、全体としては0.7ポイントの減少となった。

一方、宿泊客数は4.0ポイントの増加となった。

「大月・北都留」の観光客数は、駐車場が整備された猿橋や、ゴルフ場などの利用者が増加したものの、日帰り温泉施設や農産物直売所などの集客が減少し、釣り客やキャンプ場利用者なども減少が続いていることから、全体では2.2ポイント減少した。

一方、宿泊客数は2.3ポイント増加した。

「桂川・道志川周辺」の観光客数は、日帰り温泉施設が営業活動の強化などにより利用者が増加したものの、天候が優れなかった7月及び10月を中心に道の駅の利用者数が減少した。また、釣り客やキャンプ場利用者も減少を続けており、全体としては0.2ポイントの微減となった。

また宿泊客数も2.1ポイントの減少となった。

(4) 平成19年観光消費額

本県の観光消費額を、アンケート調査に基づく1人あたり観光消費額単価から算出した。この結果、総消費額は4,461億円となり、1人当たりの平均観光消費額は9,239円となった。

このうち、宿泊客による観光消費額は前年比8.2ポイント増の1,381億円であった。県外からの宿泊客による観光消費額が、宿泊者数が増加したことに加え、交通費を除く各支出項目の平均消費額が微増となったことから、前年比で8.3ポイント増加した。

また、日帰り客による観光消費額は2,558億円で、前年比で16.0ポイント増加した。これは、日帰り客数が大幅に増加したことに加え、土産・買物費等を中心に平均消費額が上昇したことによる。

図表16 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

		実人数 (人)	1人あたり 観光消費額 (円)	観光消費額 (円)	(H18) (円)	対前年比
全 体		48,287,014	9,239	446,113,685,177	393,927,826,152	113.2
宿 泊	県外客	6,084,701	23,900	145,424,353,900	134,317,235,091	108.3
	県内客	249,261	16,305	4,064,200,605	3,789,619,981	107.2
		6,333,962	23,601	149,488,554,505	138,106,855,072	108.2
日 帰 り	県外客	26,105,256	9,023	235,547,724,888	202,160,112,314	116.5
	県内客	15,847,796	3,854	61,077,405,784	53,660,858,765	113.8
		41,953,052	7,070	296,625,130,672	255,820,971,079	116.0

全体及び宿泊・日帰りそれぞれの合計の1人あたり平均観光消費額は、観光消費額から実人数を除いて求めた単純平均額である。

図表17 1人あたり平均観光消費額の内訳

		宿泊費	飲食費	交通費	入場・ 観覧費	土産・ 買物費等	合計
宿泊客	金額(円)	10,892	4,260	3,554	953	4,075	23,734
	構成比(%)	45.9	17.9	15.0	4.0	17.1	100.0
日帰り客	金額(円)		1,691	1,535	747	2,767	6,740
	構成比(%)		25.1	22.8	11.1	41.1	100.0

宿泊客、日帰り客とも、県外客と県内客人数比による加重平均であるため、図表16の1人あたり観光消費額とは異なる。

第2部

観光客アンケート調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 19 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において対面聞き取り式によりアンケート調査を実施した。調査結果を集計するとともに、性別・年齢階層別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

自然

文化歴史

産業観光

スポーツ・レクリエーション

温泉

買い物

行・祭事

イベント

に分類し、季節ごとに各分類 1 カ所ずつの調査地点を定め、県下 8 カ所で調査を実施した。

冬 : 平成 19 年 2 月 13 日, 14 日 (平日調査)

平成 19 年 2 月 17 日 (休日調査)

春 : 平成 19 年 5 月 1 日 (平日調査)

平成 19 年 5 月 3 日, 4 日 (休日調査)

夏 : 平成 19 年 8 月 2 日 (平日調査)

平成 19 年 8 月 4 日 (休日調査)

平成 19 年 8 月 26 日 (休日調査)

秋 : 平成 19 年 11 月 1 日 (平日調査)

平成 19 年 11 月 3 日 (休日調査)

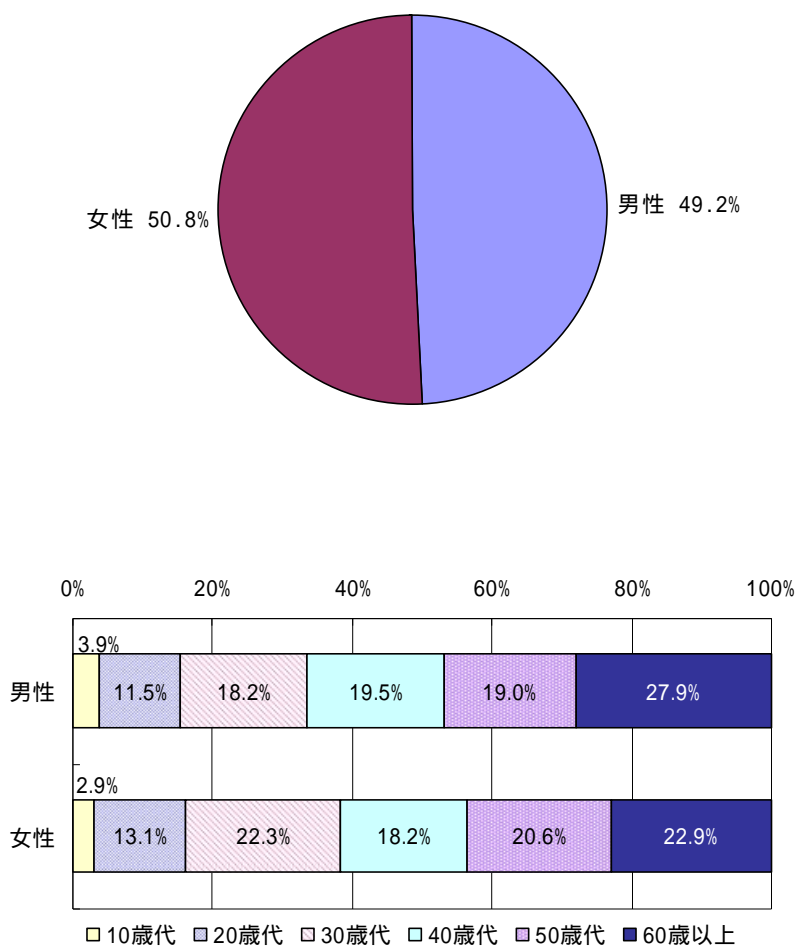
2. 観光客の特性、動態状況の分析

観光客アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

(1) 本県観光客の全体像

アンケート回答者の属性

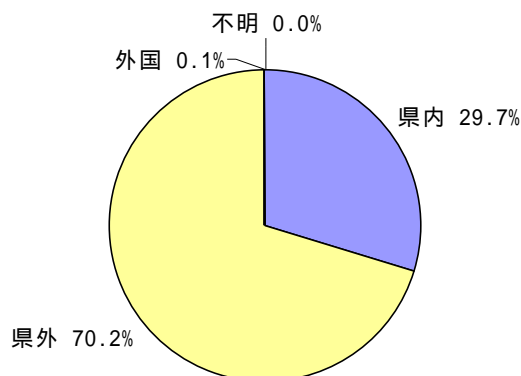
本県の観光客について男女別に年齢層をみると、男性観光客は「60歳以上」が27.9%と最も多く、次いで「40歳代」(19.5%)、「50歳代」(19.0%)と続いている。女性観光客も「60歳以上」が22.9%と最も多く、「30歳代」(22.3%)、「50歳代」(20.6%)などの順となっている。



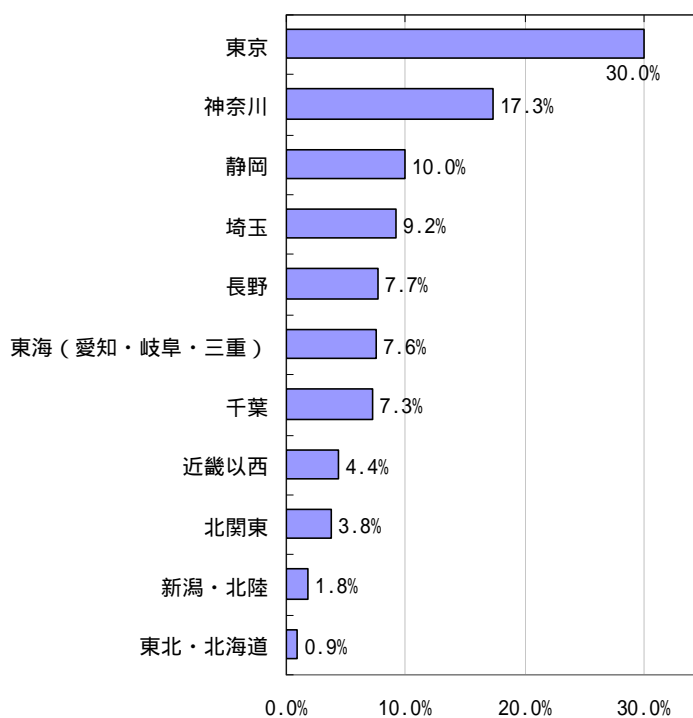
不明の者を除く

観光客の居住地

観光客の居住地は、「県内」が29.7%、「県外（外国を含む）」が70.3%である。



また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都(30.0%)、神奈川県(17.3%)、静岡県(10.0%)、埼玉県(9.2%)、長野県(7.7%)と、隣接する都県からの来訪者が多いが、東海(愛知・岐阜・三重)及び近畿以西からの観光客の比率も若干増加している。

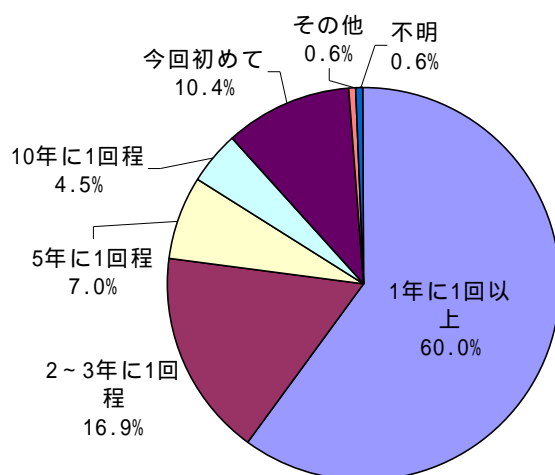


外国人及び不明の者を除く

県外客の山梨への訪問頻度

山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が60.0%で最も多く、次いで「2～3年に1回程度」(16.9%)、「今回初めて」(10.4%)と続いている。

居住地の分布と考え合わせると、近県からのリピーター客が多いことがうかがえる。また、大河ドラマをきっかけに初めて訪れた観光客も増加したものとみられる。



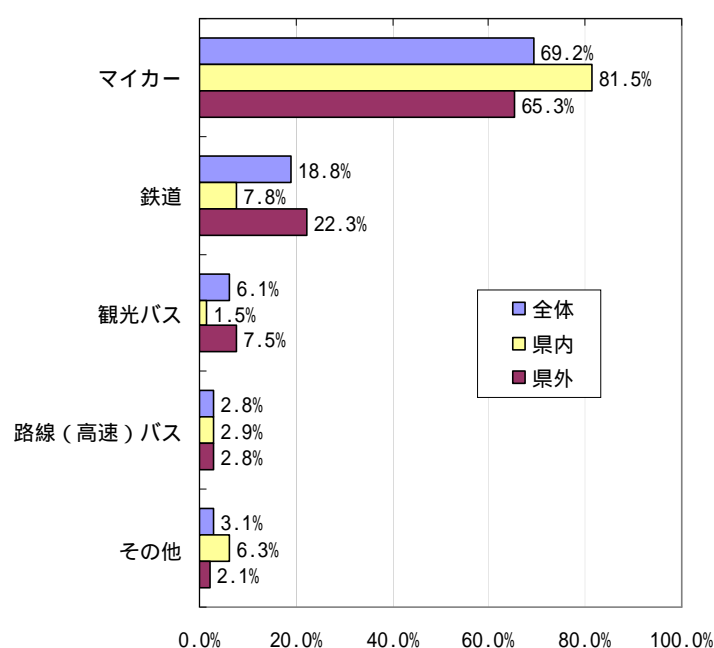
外国人及び不明の者を除く

観光客の交通手段

県内・県外を含めた全体での利用交通機関は、「マイカー」(69.2%)が最も多く、次いで「鉄道」(18.8%)、「観光バス」(6.1%)となっている。

県内客では「マイカー」が81.5%に達し、鉄道やバスの利用者は少ない。(県内客の「その他」(6.3%)には、徒歩や二輪車利用者が含まれると考えられる。)

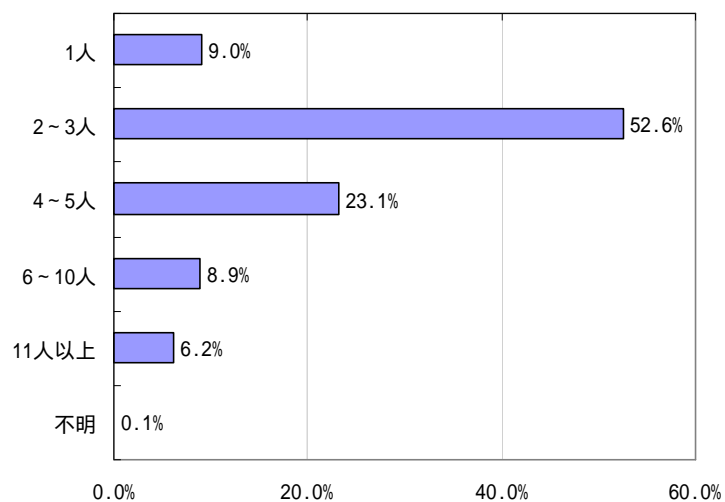
一方、県外客も「マイカー」の比率が65.3%と最も高いが、「鉄道」(22.3%)や「観光バス」(7.5%)の利用者も見受けられる。



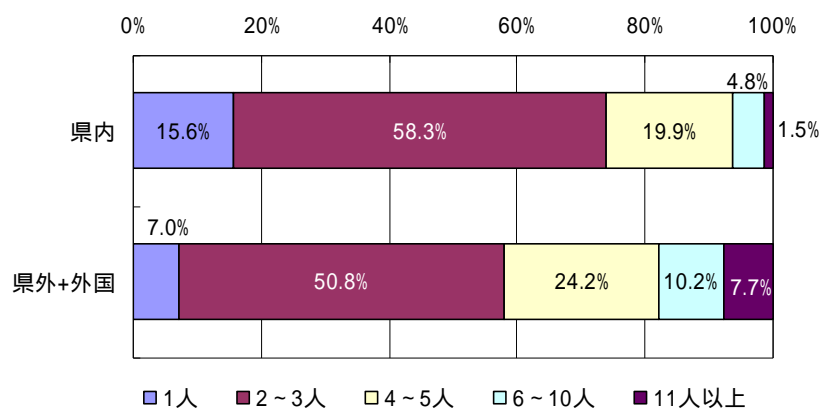
外国人及び不明の者を除く

観光客の同行人数

同行者の人数は、「2～3人」が52.6%と最も多く、次いで「4～5人」(23.1%)などとなっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が3/4以上を占めている。

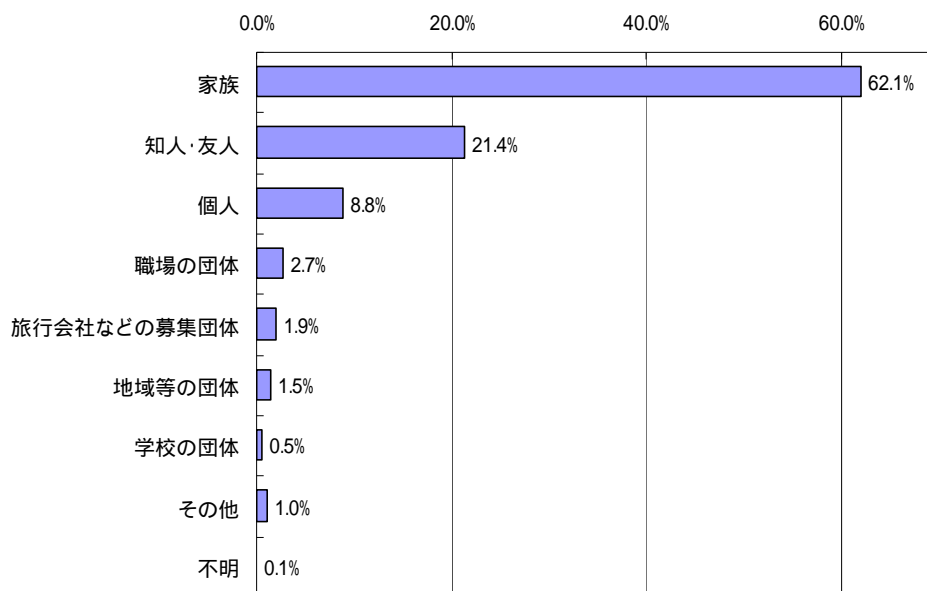


また、県内・県外別の旅行人数では、2～5人程度のグループが多い傾向は変わらないものの、県内客に比べ県外客では6人以上の団体の割合が多くなっている。

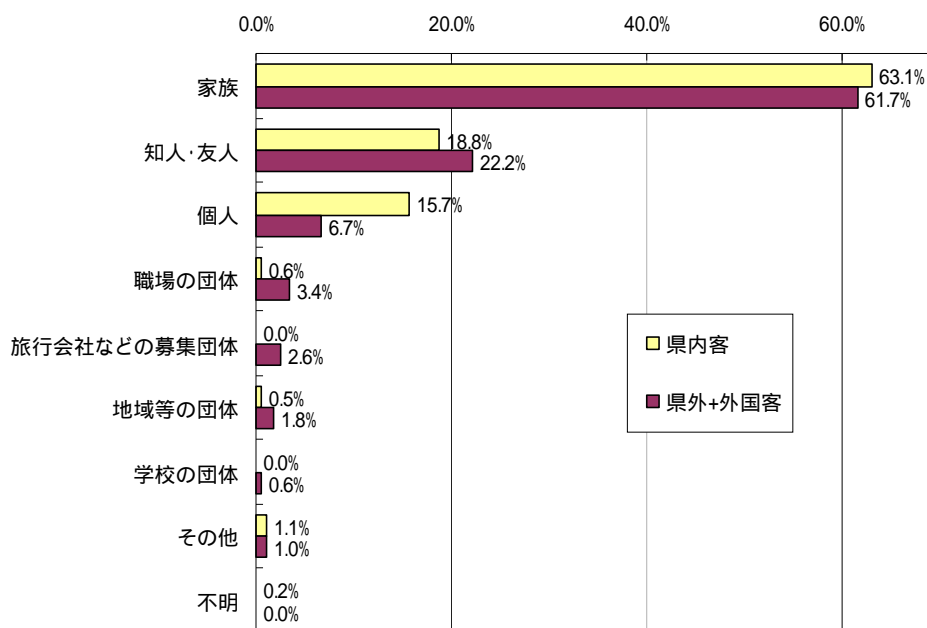


観光客のグループ形態

本県の観光客のグループ形態では、「家族」が62.1%で過半数を占めており、次いで「友人・知人」(21.4%)となっている。

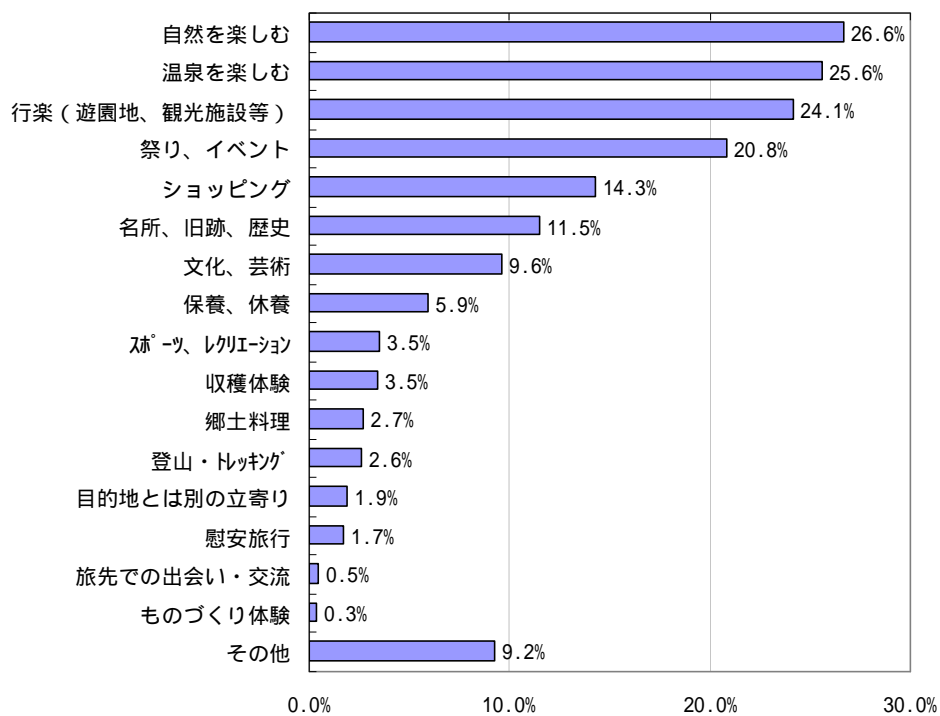


県外・県内別にみても、やはり「家族」が6割を超え、「知人・友人」が2割前後と同じ傾向である。しかし、同行人数と同様に、県外客では「個人」旅行は少なく、各種団体旅行の割合が県内客よりも多い傾向がみられる。



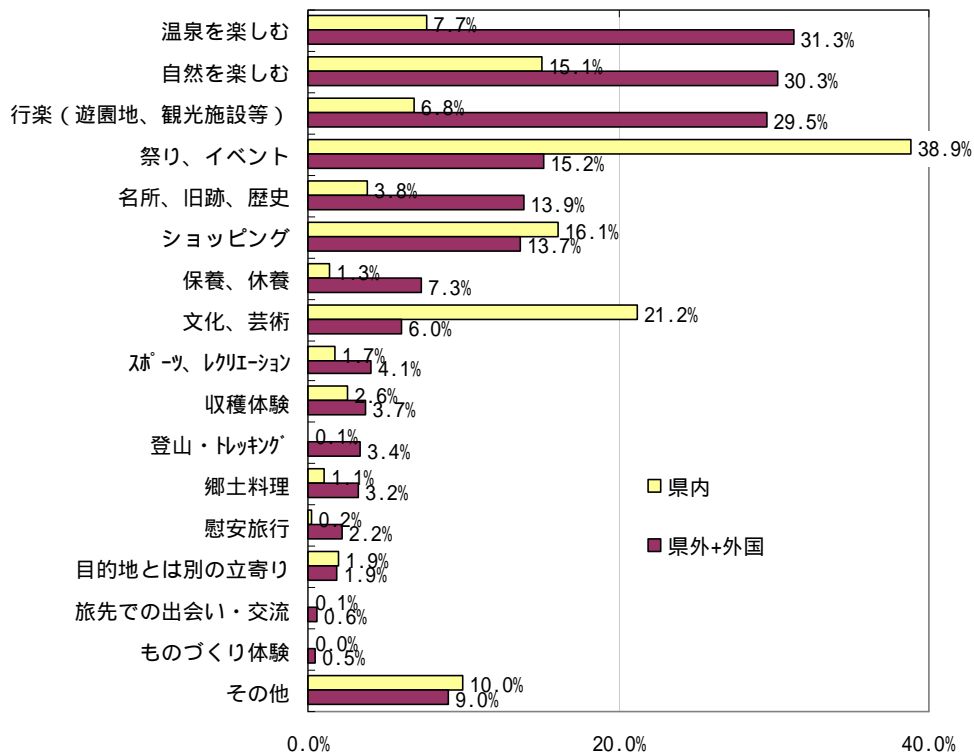
観光客の旅行目的

旅行者の主な目的では、「自然を楽しむ」が26.6%と最も多く、次いで「温泉を楽しむ」(25.6%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(24.1%)などとなっている。



* 複数回答

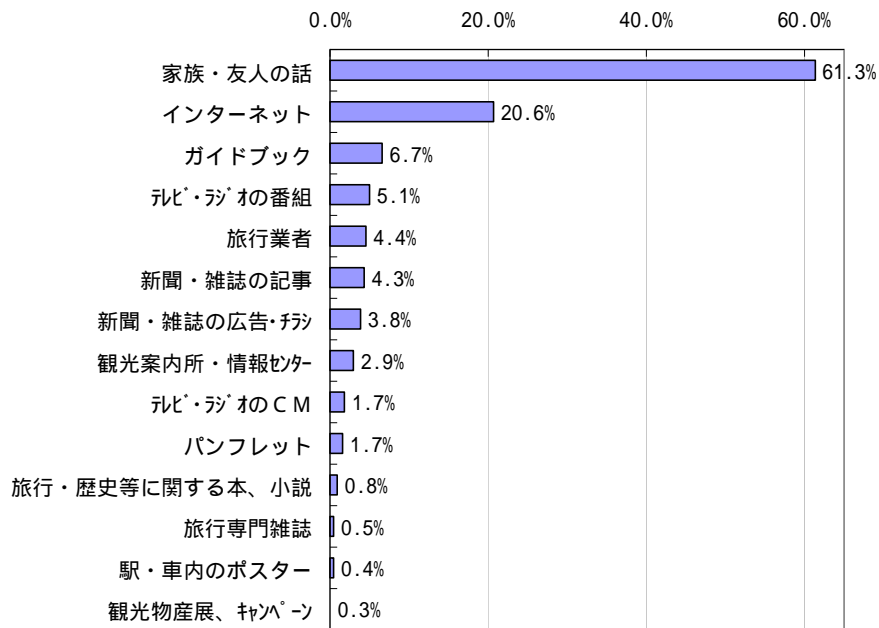
旅行の目的を県内客・県外客別にみると、県外客では「温泉を楽しむ」(31.3%)が最も多く、「自然を楽しむ」(30.3%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(29.5%)などの順となっている。一方、県内客では「温泉を楽しむ」ことを目的としている方の割合は低く(7.7%)、「祭り、イベント」が38.9%で最も多い。



* 複数回答

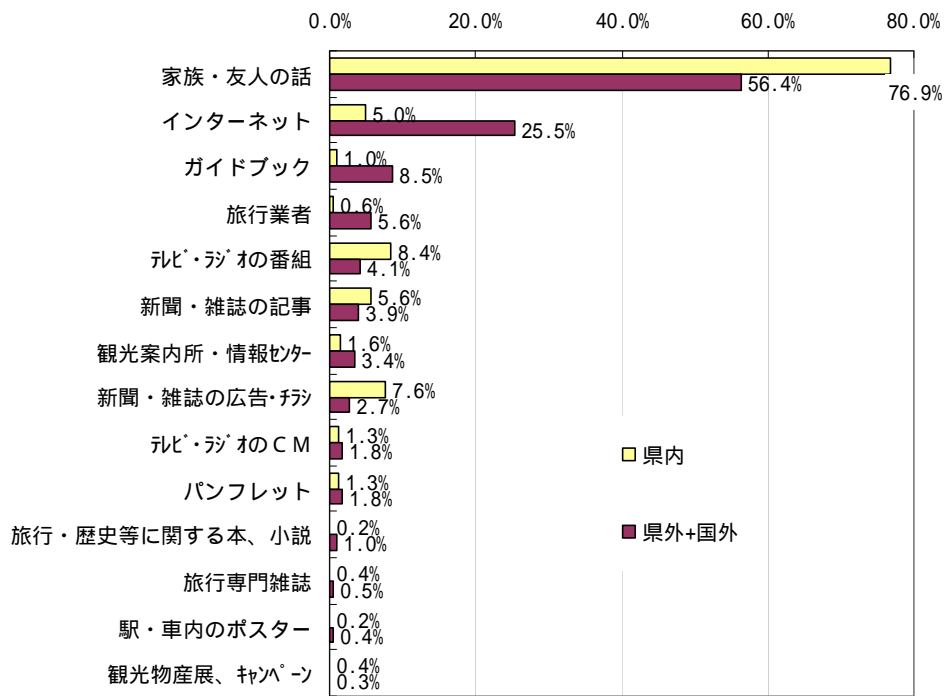
旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が61.3%で突出しており、次いで「インターネット」(20.6%)、「ガイドブック」(6.7%)と続いている。



* 複数回答

旅行計画の参考資料を県外客と県内客別にみると、県外客では「家族・友人の話」(56.4%)が最も多く、「インターネット」(25.5%)と続き、『口コミ』と『インターネット』の二つが中心になっているが、県内客では「家族・友人の話」が76.9%と、他の項目に比べて大きな比率となっている。

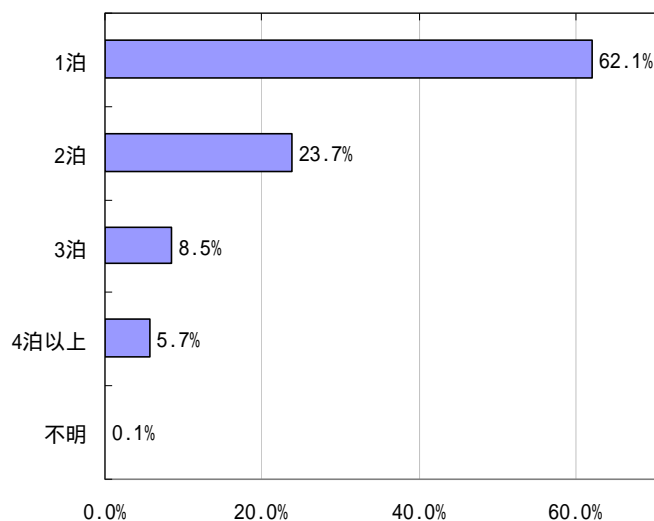


* 複数回答

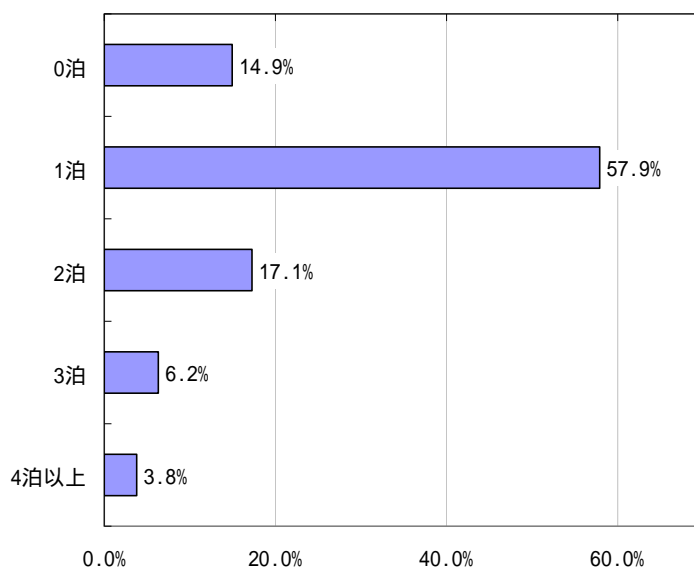
観光客の宿泊状況

宿泊客（県外・県内とも）に対して今回の旅行の宿泊数を尋ねたところ、「1泊」が62.1%で最も多く、次いで「2泊」（23.7%）となり、「4泊以上」は5.7%であった。

比較的短期間の旅行者が多いことがうかがえる。



宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」（57.9%）が最も多く、次いで「2泊」（17.1%）であるが、「0泊」（他県に宿泊）も14.9%あった。



観光客の行動パターン

観光客が、県内観光地を訪れた平均地点数は、県外からの観光客が 1.52 地点（前年 1.50 地点）、県内からの観光客は 1.26 地点（同 1.24 地点）となり、それぞれ前年よりも訪問地点数が増加した。

観光客の居住地	県外客	県内客
サンプル数	2,422人	1,023人
県内の訪問箇所数	3,681地点	1,289地点
平均訪問地点数	1.52地点	1.26地点

県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「団体ツアー客」と「ツアー以外の個人・団体旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

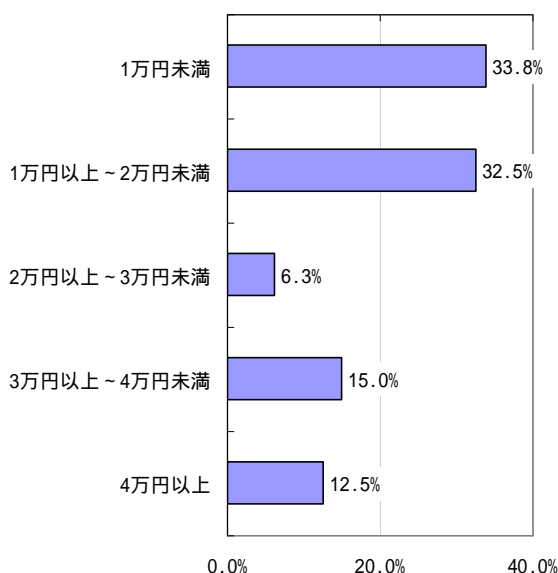
また、ツアー以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県内からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の4つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

(1) 団体ツアー

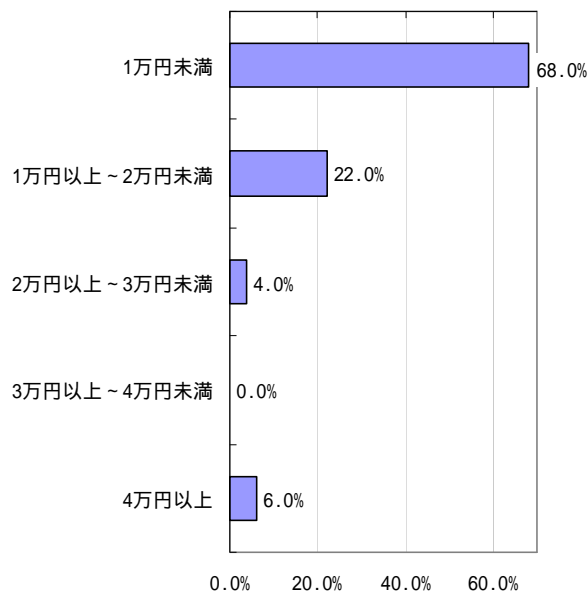
ツアー料金は「1万円未満」(33.8%)が最も多いが、前年の56.7%に比べ22.9ポイント減少した。一方、「1万円以上～2万円未満」が前年より15.6ポイント多い32.5%となったほか、3万円以上のツアー客も27.5%に達している。これは、風林火山にちなんだ宿泊を伴うツアー参加者が増加したためとみられる。この結果、ツアー料金の平均額は18,459円で、前年の平均13,242円から5,217円余り増加した。

ツアー料金以外の消費額では、「1万円未満」(68.0%)が最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(22.0%)となっており、前年とほぼ同様の傾向となっている。

ツアー料金



ツアー料金以外の支出



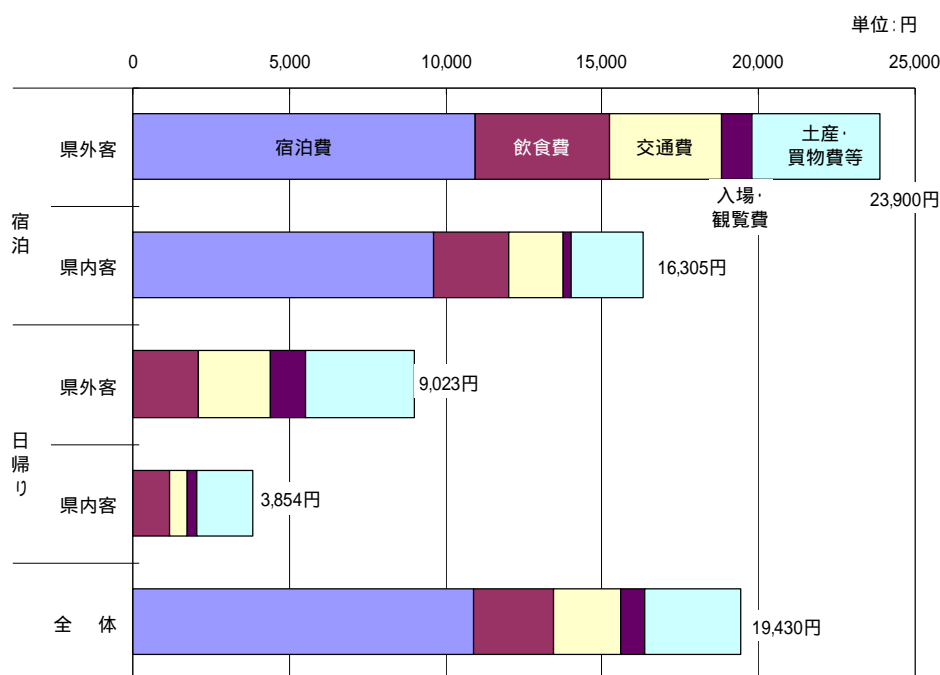
(2) 団体ツアー以外の個人・団体旅行

属性（県内・県外及び宿泊・日帰り）別の1人当たり平均観光消費額は、「県外からの宿泊客」が23,900円、「県内の宿泊客」が16,305円、「県外からの日帰り客」が9,023円、「県内からの日帰り客」が3,854円となった。

また全体の平均消費額は、宿泊費が10,892円、宿泊費以外の支出が8,538円であった。

属性		宿泊費	飲食費	交通費	入場・観覧費	土産・買物費等	合計
宿泊	県外客	10,920	4,300	3,595	969	4,116	23,900
	県内客	9,586	2,420	1,723	256	2,320	16,305
		10,892	4,260	3,554	953	4,075	23,734
日帰り	県外客	-	2,108	2,283	1,119	3,513	9,023
	県内客	-	1,164	590	274	1,826	3,854
		-	1,691	1,535	747	2,767	6,740
全体		10,892	2,577	2,132	737	3,092	19,430

宿泊及び日帰りの合計並びに全体平均は、加重平均により算出しているため、単純平均額とは異なる



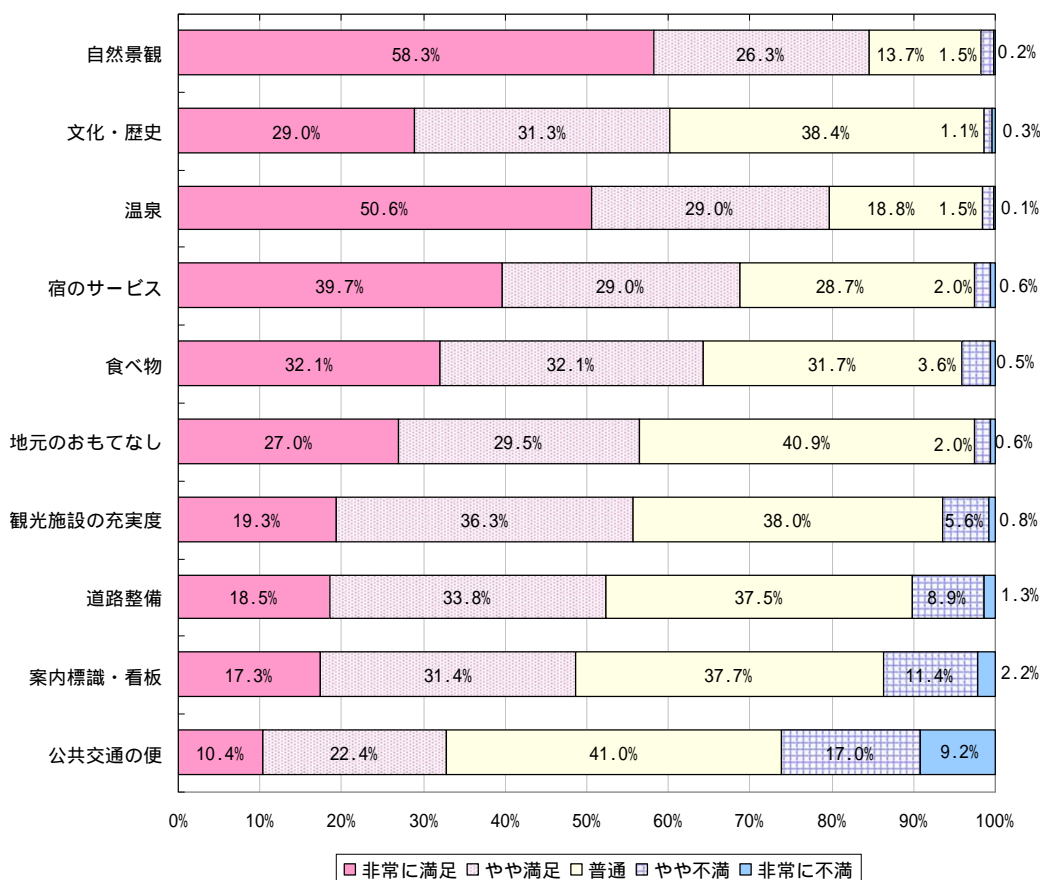
観光客の満足度

今回の旅行において観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び「不明」を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは「自然景観」（84.6%）で、次いで「温泉」（79.5%）、「宿のサービス」（68.6%）となっている。

逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」（26.2%）、「案内標識・看板」（13.6%）、「道路整備」（10.2%）などのインフラ面であった。

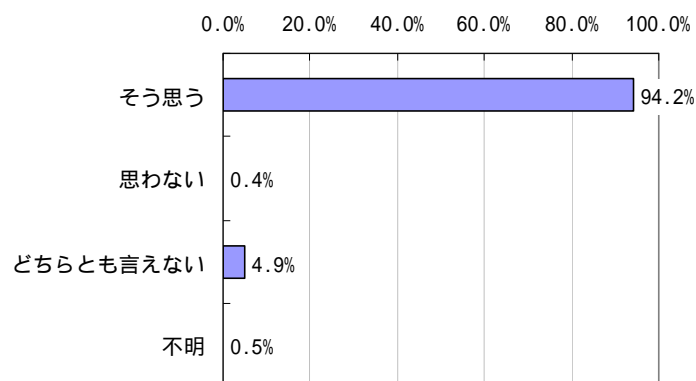
	満足	非常に満足	やや満足	普通	不満	やや不満	非常に不満
自然景観	84.6%	58.3%	26.3%	13.7%	1.7%	1.5%	0.2%
文化・歴史	60.3%	29.0%	31.3%	38.4%	1.4%	1.1%	0.3%
温泉	79.5%	50.6%	29.0%	18.8%	1.6%	1.5%	0.1%
宿のサービス	68.6%	39.7%	29.0%	28.7%	2.7%	2.0%	0.6%
食べ物	64.2%	32.1%	32.1%	31.7%	4.1%	3.6%	0.5%
地元のおもてなし	56.5%	27.0%	29.5%	40.9%	2.6%	2.0%	0.6%
観光施設の充実度	55.6%	19.3%	36.3%	38.0%	6.4%	5.6%	0.8%
道路整備	52.2%	18.5%	33.8%	37.5%	10.2%	8.9%	1.3%
案内標識・看板	48.7%	17.3%	31.4%	37.7%	13.6%	11.4%	2.2%
公共交通の便	32.8%	10.4%	22.4%	41.0%	26.2%	17.0%	9.2%

「わからない」及び不明を除く



県外客の再訪の意志

県外からの観光客に対し、また山梨に来たいと思うか尋ねたところ、「そう思う」が94.2%、「思わない」が0.4%で、多くが再訪の意志を有している。



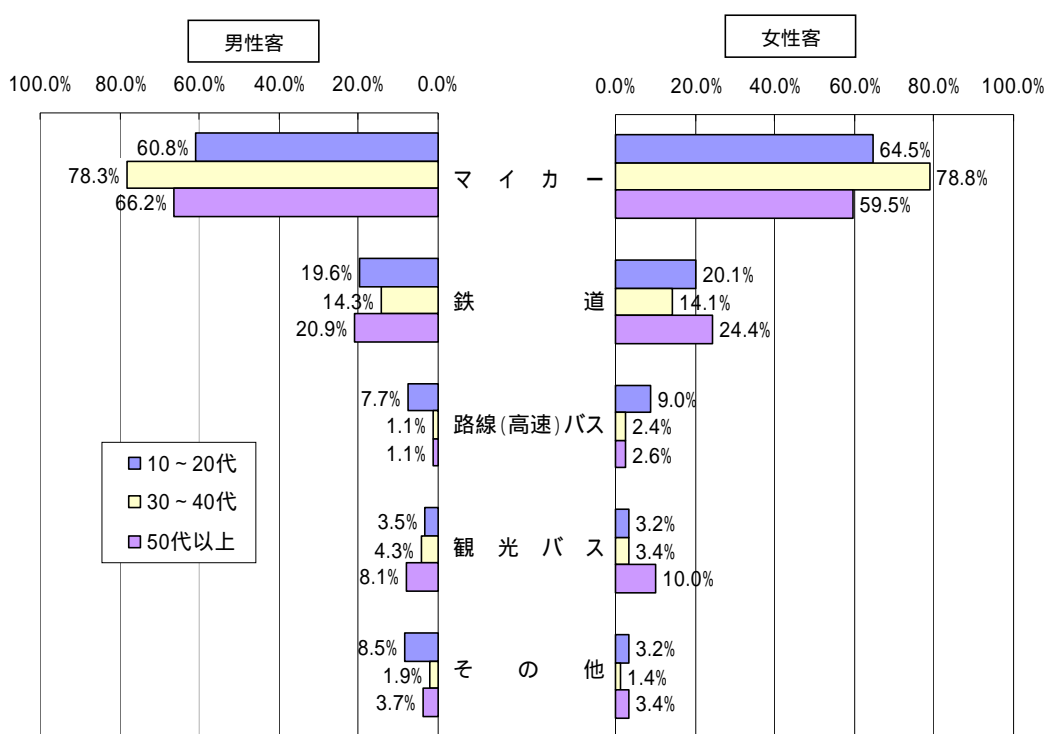
(2) 属性(性別・年代)別の観光客の特徴

アンケート回答者の属性(性別及び年代)別に特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- 観光客の交通手段
- 観光客の旅行目的
- 旅行計画の参考資料
- 宿泊の有無

観光客の交通手段

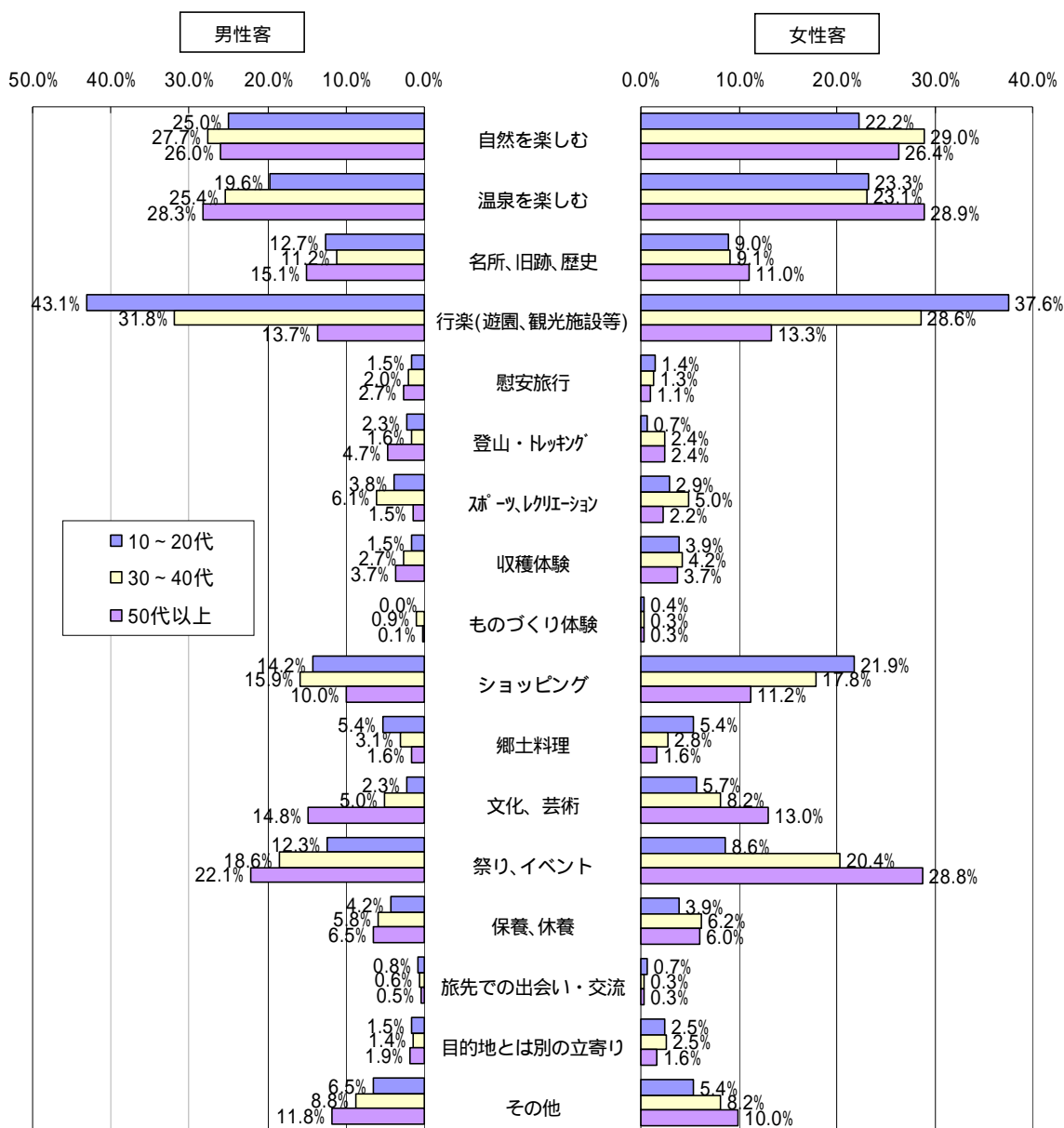
交通手段は、性別・年代を問わず「マイカー」が最も多く、特に30～40代では男性が78.3%、女性は78.8%と高い割合となっている。他の交通機関別にみると、「鉄道」は「50代以上の女性」(24.4%)、「路線(高速)バス」は「10～20代の女性」(9.0%)、「観光バス」では「50代以上の女性」(10.0%)が、それぞれ他の属性に比べてやや多くなっている。



観光客の旅行目的

属性別の旅行目的では、年代による志向の差はみられるものの、同年代では性別による差はあまりみられない。

旅行目的で最も多いのは、10～20代の男女と30～40代の男性が「行楽(遊園、観光施設)」、30～40代の女性が「自然を楽しむ」であるが、50代以上は男女とも「温泉を楽しむ」である。



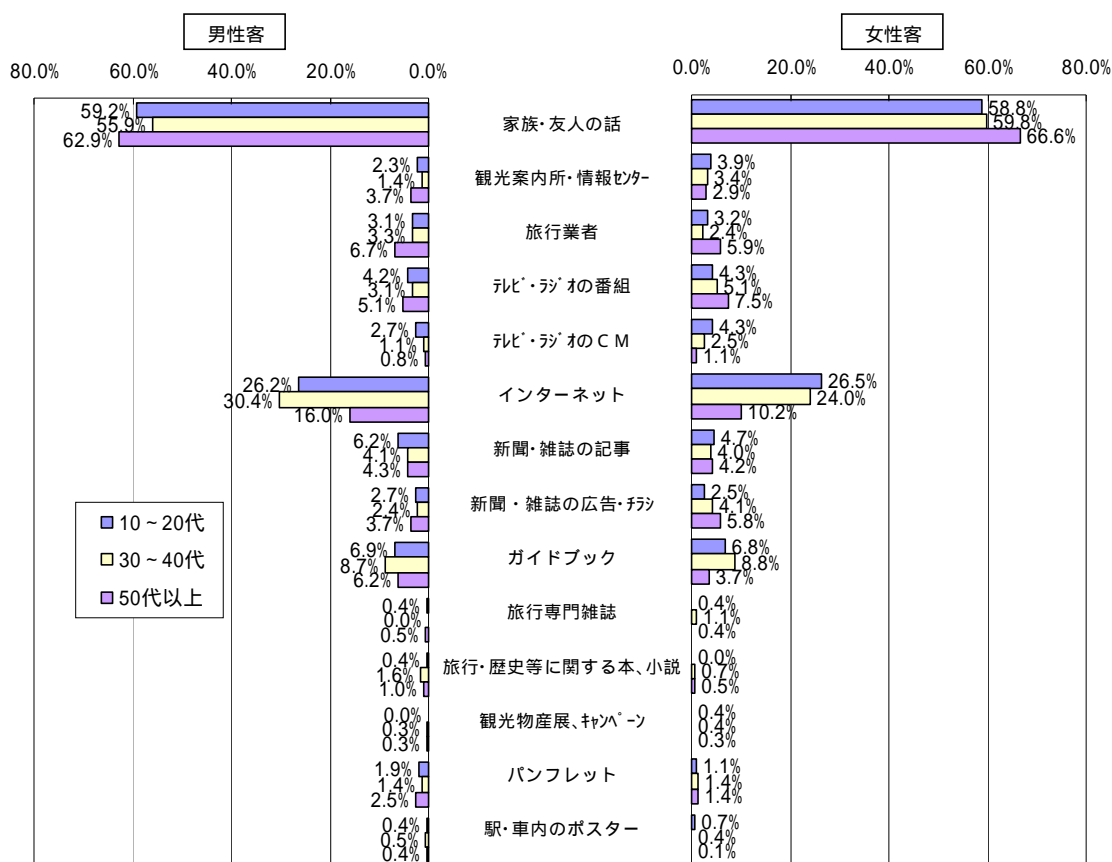
*複数回答

旅行計画の参考資料

旅行の際に参考にする資料は、各年代・性別とも「家族・友人の話」が最も多く、次いで「インターネット」となっている。

特に50代以上の女性は「家族・友人の話」が66.6%と、最も多くなっている。

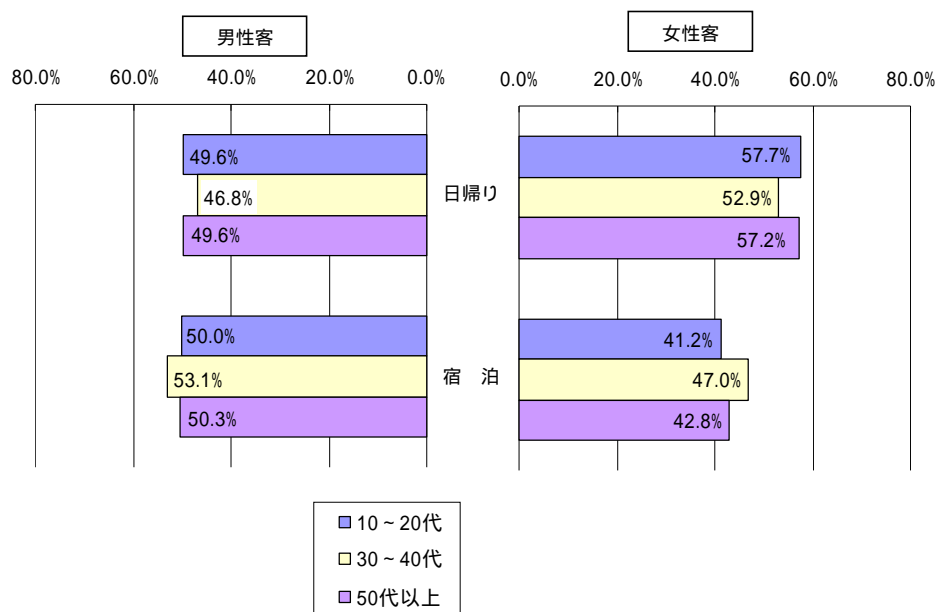
インターネットに関しては、10～20代、30～40代は男女に関わらず約25%～30%の割合に達するが、50代以上では利用者が少ない。



* 複数回答

宿泊の有無

属性別に旅行形態(宿泊か日帰りか)を分析すると、女性は全年代で「日帰り」が「宿泊」を上回り、特に10~20代及び50代以上の女性では「日帰り」の割合が6割弱となっている。一方男性は、「日帰り」と「宿泊」の比がほぼ拮抗しており、30~40代の男性のみ「宿泊」の割合が高くなっている。



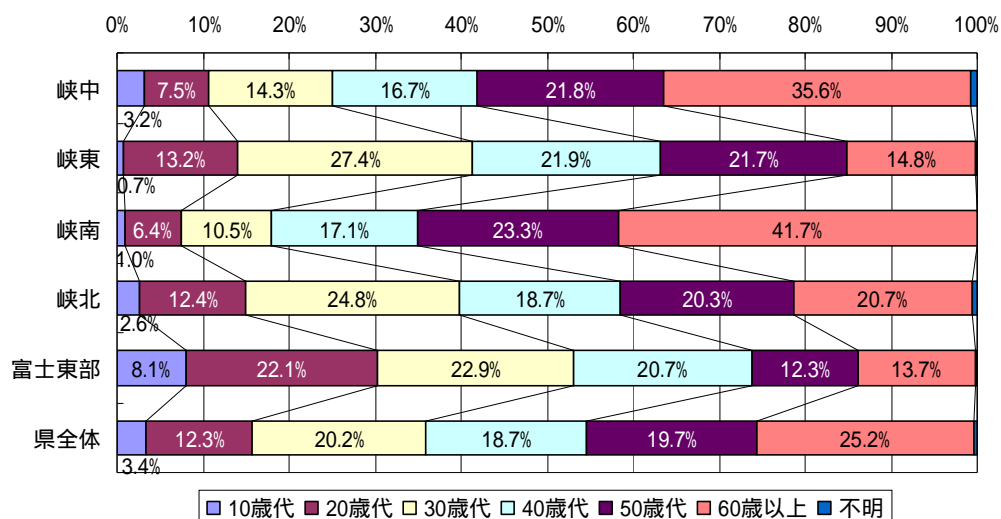
(3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- アンケート回答者の属性
- 観光客の交通手段
- 観光客の同行人数
- 観光客のグループ形態
- 宿泊の有無
- 観光客の満足度

アンケート回答者の属性

圏域別の年代構成をみると、「峡中」及び「峡南」では50歳代以上が6割前後を占めている。一方、「富士・東部」では30代以下が過半数となり、「峡北」でも30代以下がおよそ40%を占めており、年代により訪問地域に偏りがみられる。



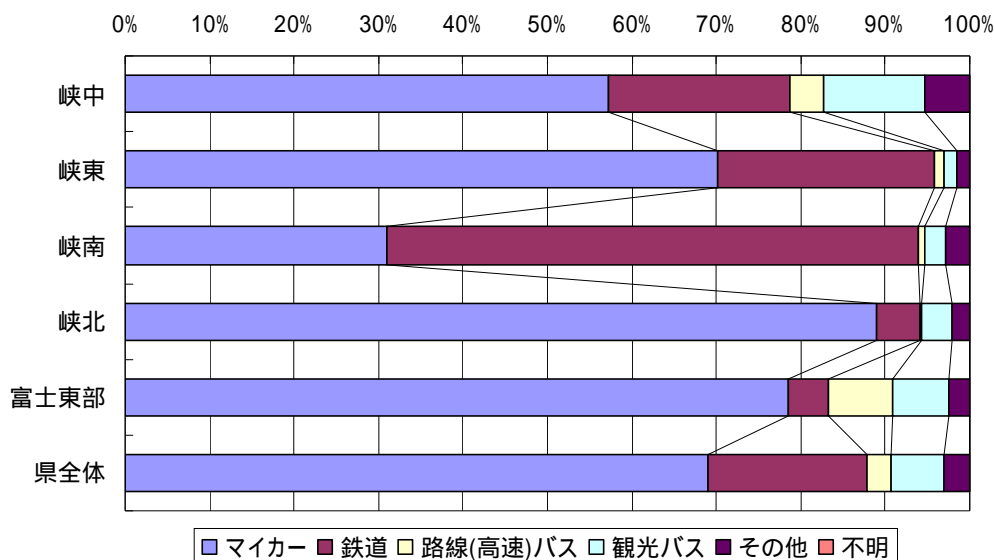
観光客の交通手段

圏域別に観光客の交通手段を比較すると、「峡南」を除く各圏域で「マイカー」利用が最も多いが、特に「峡北」及び「富士・東部」圏域では「マイカー」利用がそれぞれ89.1%、78.5%と高い割合となっている。

「峡南」圏域では、下部温泉利用者を中心に「鉄道」利用者が多く（62.9%）、「峡東」及び「峡中」圏域でも「鉄道」利用者がそれぞれ25.8%、21.5%あった。

また、風林火山関連のツアーが増えたため、「峡中」圏域の観光バス利用者も12.0%であった。

圏域	マイカー	鉄道	路線(高速)バス	観光バス	その他	不明	回答者数
峡中	57.3%	21.5%	4.0%	12.0%	5.3%	0.0%	969
峡東	70.1%	25.8%	1.1%	1.4%	1.6%	0.0%	438
峡南	30.9%	62.9%	0.8%	2.6%	2.8%	0.0%	391
峡北	89.1%	5.1%	0.3%	3.5%	2.2%	0.0%	1006
富士東部	78.5%	4.8%	7.5%	6.7%	2.5%	0.0%	642
県全体	69.2%	18.8%	2.8%	6.2%	3.1%	0.0%	3,446

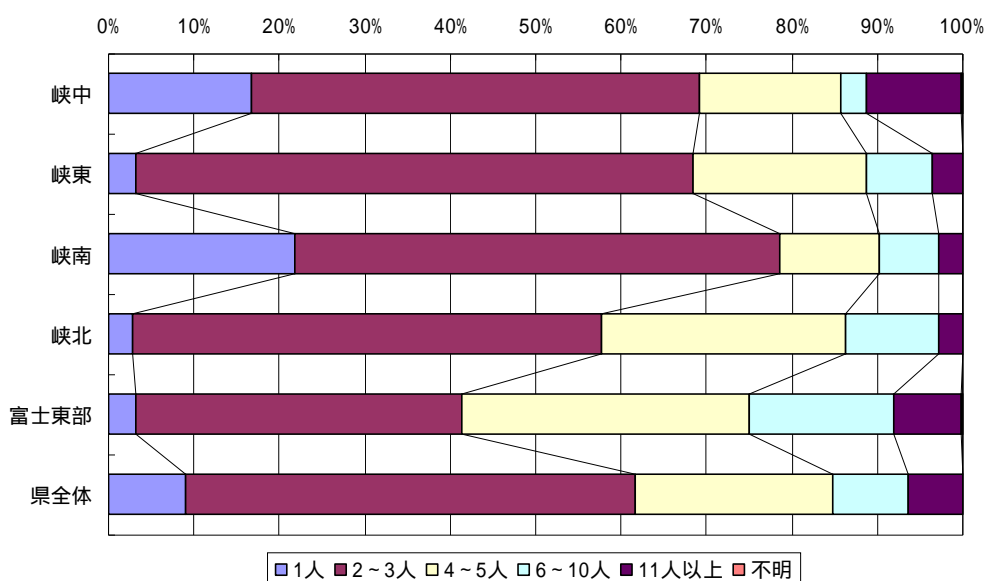


観光客の同行人数

圏域別に旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高く、特に「峡東」圏域では65.3%を占めている。

「峡中」圏域では「1人」(16.8%)の割合が他圏域よりも高い一方、11人以上の団体も11.1%あった。「峡東」及び「峡北」圏域は全県平均と似た傾向にあるが、「峡南」圏域では少人数の旅行が多く、「富士・東部」圏域では逆に団体旅行者の割合が高くなっている。

圏域	1人	2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	不明	回答者数
峡中	16.8%	52.4%	16.5%	3.0%	11.1%	0.1%	969
峡東	3.2%	65.3%	20.3%	7.5%	3.7%	0.0%	438
峡南	21.7%	56.8%	11.7%	6.9%	2.8%	0.0%	391
峡北	2.9%	54.9%	28.5%	10.8%	2.9%	0.0%	1006
富士東部	3.1%	38.3%	33.5%	17.0%	7.9%	0.2%	642
県全体	9.0%	52.6%	23.1%	8.9%	6.2%	0.1%	3,446



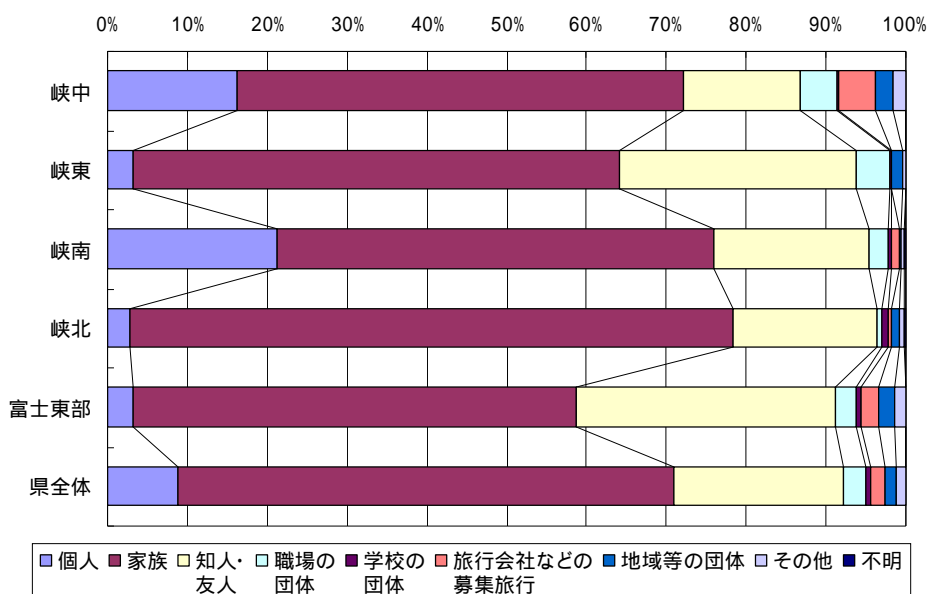
観光客のグループ形態

圏域別のグループ形態では、いずれの圏域も「家族」での旅行が最も多く、特に「峡北」圏域では75.4%と高い割合となっている。

個別にみると、「峡南」圏域と「峡中」圏域では「個人」がそれぞれ21.2%、16.2%と他圏域に比べて比率が高く、「峡北」圏域では「家族」の割合が3 / 4を占めている。

また、「富士・東部」及び「峡東」圏域では「知人・友人」の割合がそれぞれ32.6%、29.7%となっていることなどが特徴的である。

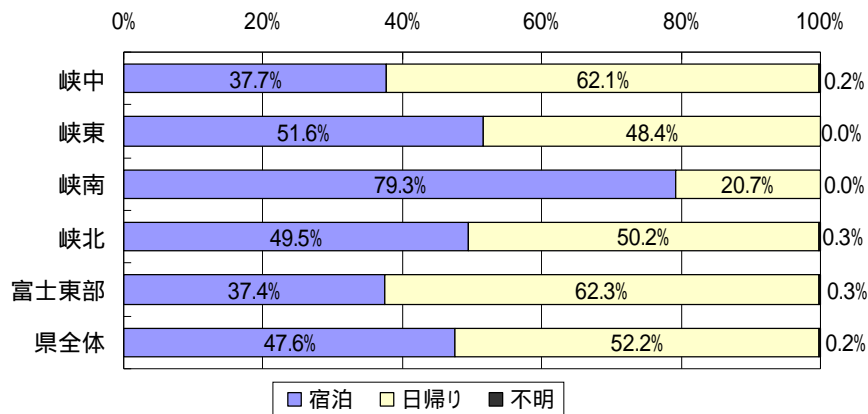
圏域	個人	家族	知人・友人	職場の団体	学校の団体	旅行会社などの募集旅行	地域等の団体	その他	不明	回答者数
峡中	16.2%	56.0%	14.6%	4.6%	0.2%	4.5%	2.2%	1.7%	0.0%	969
峡東	3.2%	61.0%	29.7%	4.1%	0.2%	0.0%	1.4%	0.5%	0.0%	438
峡南	21.2%	54.7%	19.4%	2.3%	0.5%	1.0%	0.3%	0.3%	0.3%	391
峡北	2.9%	75.4%	18.0%	0.6%	0.8%	0.5%	0.9%	0.7%	0.2%	1006
富士東部	3.3%	55.5%	32.6%	2.5%	0.6%	2.2%	2.0%	1.4%	0.0%	642
県全体	8.7%	62.1%	21.4%	2.7%	0.5%	1.9%	1.5%	1.0%	0.1%	3,446



宿泊の有無

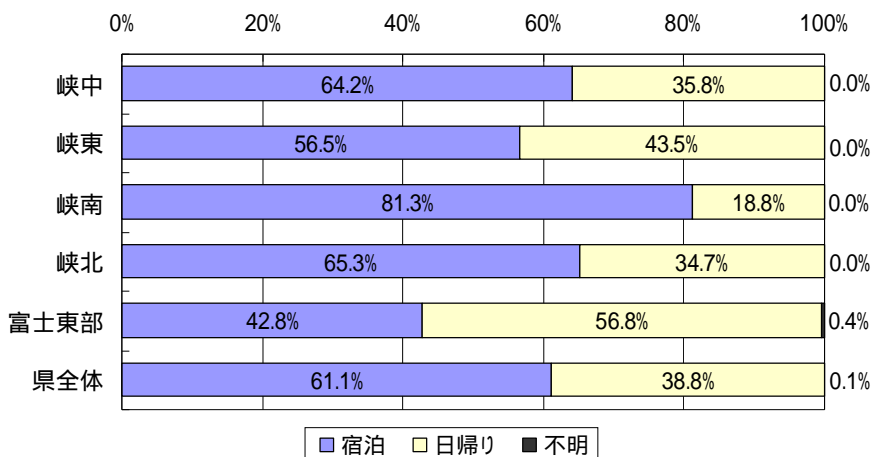
圏域別に旅行形態（宿泊か日帰りか）をみると、県外・県内を合わせた全体では「峡東」及び「峡北」圏域では「宿泊」と「日帰り」がほぼ拮抗しているが、「峡南」圏域は「宿泊」が、「峡中」及び「富士・東部」では「日帰り」が多くなっている。

宿泊／日帰り(全体)



県外からの観光客に限ってみると、「富士・東部」は全体の傾向と同じく日帰り客が中心であるが、「峡中」、「峡南」及び「峡北」で「宿泊」が6割前後に達しており、県外客の居住地である首都圏から離れた地域では、宿泊者の割合が多くなっている。

宿泊／日帰り(県外客のみ)



観光客の満足度

観光の分野別の満足度を、圏域別に比較した（ただし、「わからない」及び「不明」の回答は除く）。

峡中

「公共交通の便」に対する不満がやや高く、全般的な傾向は、県全体の満足度と同様の傾向であるが、特に武田氏ゆかりの史跡や施設が多いこともあり「文化・歴史」に対する満足度が他圏域に比べて高くなっている。一方、「温泉」、「食べ物」、「観光施設の充実度」などの項目も不満足とする割合が若干高い。

峡東

全体的な傾向は、県全体の満足度と同様であるが、特に「自然景観」やフルーツをはじめとする「食べ物」に対する満足度が高くなっている。また、全県的に不満の割合が最も多い「公共交通の便」についても、他圏域に比べると不満足の声が少ない結果となっている。

峡南

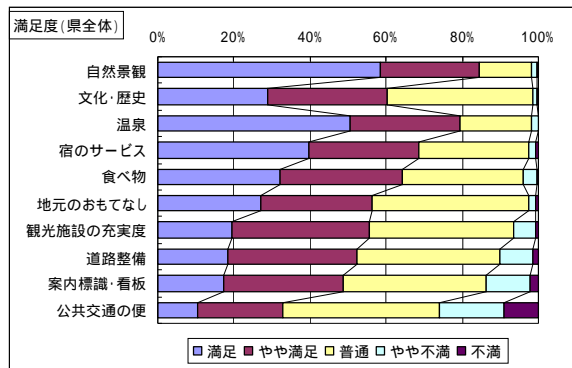
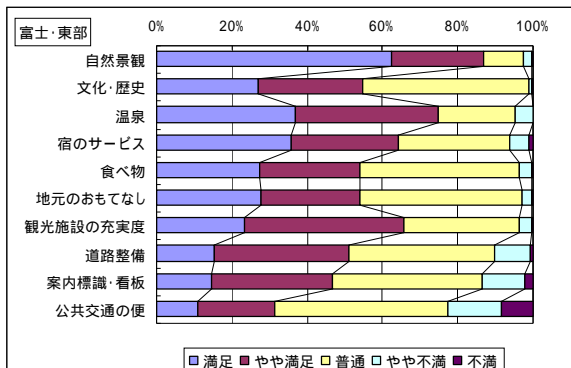
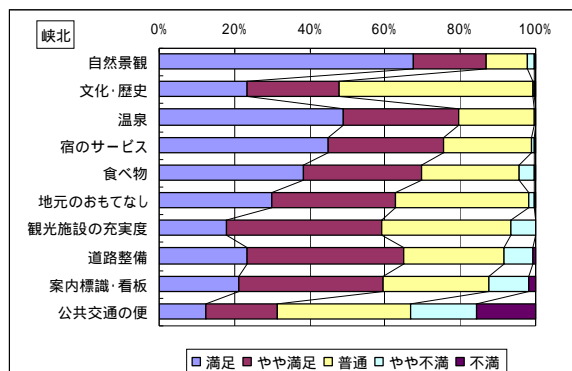
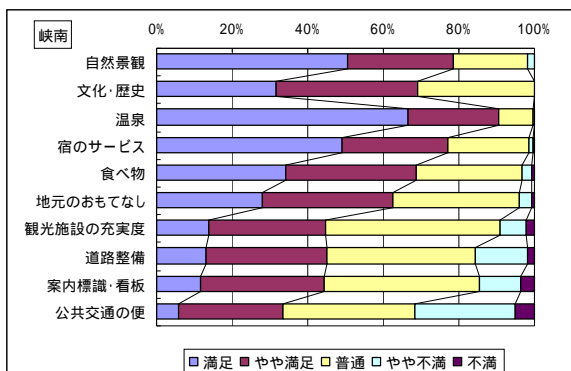
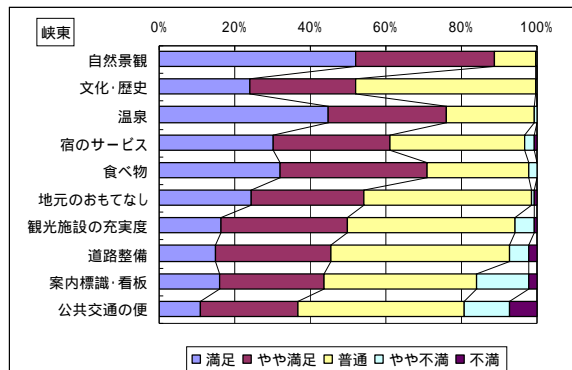
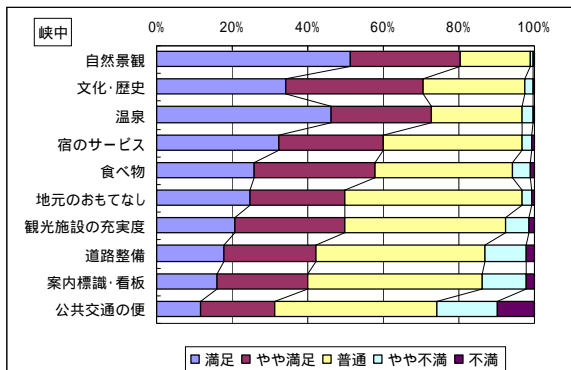
「観光施設の充実度」や「道路整備」に対する不満足感がやや高めとなっているが、「温泉」をはじめ、「文化・歴史」、「宿のサービス」、「地元のおもてなし」などの項目に対する満足度が高く、全般的に宿泊施設に対する満足度が高くなっている。

峡北

「公共交通の便」に対する不満足度（やや不満＋不満）が 33.2%で5つの圏域の中で最も高く、「文化・歴史」に対する満足度（満足＋やや満足）が低い。その他の項目は全て県全体に比べて満足度が高くなっており、特に「道路整備」及び「案内標識・看板」は満足度が10ポイント以上高い結果となっている。

富士・東部

「食べ物」をはじめ、全体的に満足度が県全体の平均をやや下回る項目が多いが、「観光施設の充実度」への満足度は非常に高く、「公共交通の便」に関する不満足度は県平均よりも低くなっている。



参考資料

やまなしの観光アンケート

山梨県観光部観光企画課

調査地点名：	調査年月日：平成19年 月 日
調査員名：	調査時刻：(:)

このたびは、ようこそ「富士の国やまなし」へお越しくださいました。山梨県では、観光客の皆様を温かくお迎えすることが出来る観光地をつくるため、アンケート調査を実施しております。大変お手数をおかけしますが、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

Q1．あなたの性別・年齢をお答え下さい。

1. 男 2. 女	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上
--------------	---

Q2．あなたのお住まいはどこですか。現在の居住地をお答え下さい。

1. 県内 2. 県外 (都道府県名：) 3. 外国 (国名：)
--

Q3．県外又は外国にお住まいの方にお聞きします。あなたはどのくらいの割合で山梨を訪れますか。

1. 1年に1回以上 2. 2～3年に1回程度 3. 5年に1回程度
4. 10年に1回程度 5. 今回の旅行が初めて 6. その他 ()

Q4．あなたのお住まいから当地まで利用された交通機関のうち主なもの1つだけに印をつけて下さい。

1. マイカー 2. 鉄道 3. 路線(高速)バス 4. 観光バス 5. その他 ()
--

Q5．この観光地へは何人でいらっしゃいましたか。1つだけに印をつけて下さい。

1. 1人 2. 2～3人 3. 4～5人 4. 6～10人 5. 11人以上

Q6．この観光地へはどなたと一緒にいらっしゃいましたか。1つだけに印をつけて下さい。

1. 個人 2. 家族 3. 友人・知人 4. 職場の団体 5. 学校の団体 6. 旅行会社などの募集团体
7. 地域等の団体 8. その他 ()

Q7．今回の旅行の主な目的は何ですか。(複数回答可)

1. 自然を楽しむ 2. 温泉を楽しむ 3. 名所、旧跡、歴史 4. 行楽(遊園地、観光施設等) 5. 慰安旅行
6. 登山・トレッキング 7. スポーツ、レクリエーション 8. 収穫体験 9. ものづくり体験
10. ショッピング 11. 郷土料理 12. 文化、芸術 13. 祭り、イベント 14. 保養・休養
15. 旅先での出会い・交流 16. 目的地とは別の立寄り 17. その他 ()

Q8．旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

1. 家族・友人の話 2. 観光案内所・情報センター 3. 旅行業者 4. テレビ・ラジオの番組 5. テレビ・ラジオのCM
6. インターネット 7. 新聞・雑誌の記事 8. 新聞・雑誌の広告・チラシ 9. ガイドブック 10. 旅行専門雑誌
11. 旅行・歴史等に関する本、小説 12. 観光物産展、キャンペーン 13. パンフレット 14. 駅・車内のポスター

Q9．今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。宿泊の場合は、当県で何泊するかもお答え下さい。

1. 日帰り 2. 宿泊 泊 日(うち山梨県 泊)

Q10．宿泊の方だけにお伺いします。宿泊地と、そこで何泊される(された)かをお答え下さい。

1. 湯村温泉郷(泊) 2. 積翠寺温泉(泊) 3. 甲府市内(泊)
4. 石和温泉郷(泊) 5. 春日居温泉郷(泊) 6. 塩山温泉郷(泊)
7. 三富温泉郷(泊) 8. 下部温泉郷(泊) 9. 西山温泉郷(泊)
10. 芦安温泉郷(泊) 11. 増富ラジウム温泉郷(泊) 12. 富士河口湖温泉郷(泊)
13. その他(県内：施設名： 泊)(県外： 県 泊)

Q11．今回の旅行で、武田信玄に関連する次の施設に立寄りましたか。または予定がありますか。

1. 風林火山博(甲府市) 2. 風林火山館(北杜市) 3. その他武田史跡 4. 立ち寄らない

Q 1 1-1 . 今回の旅行ではここ以外に、どこに立寄られましたか。または、どこに立寄る予定ですか。

1 . 山梨県内のみ (Q11-2へ)	2 . 県外のみ (Q11-3へ)
3 . 山梨県内・県外両方立寄る (Q11-2、 11-3へ)	4 . ここ以外、どこにも立寄らない (Q12へ)

Q 1 1-2 . 山梨県内 (ここ以外) に立寄る方にお伺いします。立寄られた (または、立寄る予定の) 地域と箇所数をお答え下さい。

1 . 甲府市内 - - - (箇所)	2 . 峡中 (南アルプス市方面) - - - - (箇所)
3 . 峡東 (石和温泉、フルーツパーク、恵林寺方面) - - - - - - - - - - (箇所)	
4 . 峡北 (清里、小淵沢、八ヶ岳方面) - - - - - - - - - - - - - - - - (箇所)	
5 . 峡南 (身延山、下部温泉、西山温泉方面) - - - - - - - - - - - - - - (箇所)	
6 . 富士五湖周辺 - - (箇所)	7 . 東部 (都留、大月、上野原方面) - - (箇所)

Q 1 1-3 . 県外に立寄る方にお伺いします。立寄られた (または、立寄る予定の) 地域をお答え下さい。

1 . 首都圏 (除く「北関東」)	2 . 北関東地方 (群馬・栃木・茨城)	3 . 信越地方
4 . 東海地方	5 . 北海道・東北地方	6 . 北陸地方
		7 . 西日本

Q 1 2 . 今回の旅行で、山梨県内で使ったお金 (現金のほか、クレジットカード、プリペイドカードの利用も含む) は、1人あたりいくらですか。また、その内訳もあわせて教えて下さい。もしはっきりしない場合は、だいたいの割合で結構ですから教えて下さい。

旅行会社の企画をご利用の方

1 . ツアー料金 () 円	2 . それ以外の総消費額 () 円
-----------------	---------------------

上記以外の方

1 . 宿泊費 () 円	2 . 飲食費 () 円
3 . 交通費 () 円	4 . 入場・観覧費 () 円
5 . 土産・買物費 () 円	6 . その他 () 円

注) ・宿泊施設内での飲食費は、「飲食費」でなく「宿泊費」に入れてください。
 ・「交通費」には、ガソリン代、有料道路料金、自動車レンタル料金なども含まれます。

Q 1 3 . 今回の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するものに 印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1 . 自然景観	1	2	3	4	5	6
2 . 文化・歴史	1	2	3	4	5	6
3 . 温泉	1	2	3	4	5	6
4 . 宿のサービス	1	2	3	4	5	6
5 . 食べ物	1	2	3	4	5	6
6 . 地元のおもてなし	1	2	3	4	5	6
7 . 観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
8 . 道路整備	1	2	3	4	5	6
9 . 案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
10 . 公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q 1 4 . 県外にお住まいの方に伺います。また山梨へ来てみたいと思いますか。

1 . そう思う	2 . 思わない	3 . どちらとも言えない
----------	----------	---------------

Q 1 5 . 山梨県では観光客の皆さんにとって快適で利用しやすい観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました

